3-072-571-**02** (2)

デジタル ビデオカセット レコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

GV-D1000

必ずお読みください

カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします

本機はDV方式のビデオカセットレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能

「撮影日で頭出しする－日付サーチ」（39ページ）
「見たい静止画を探す－フォトサーチ／フォトスキャン」（42ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能

「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（38ページ）
「タイトルを入れる」（28ページ）
「カセットに名前を付ける－カセットラベル」（35ページ）

詳しくは142ページをご覧ください。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはマークが付いています。

ためし録画

必ず事前にためし録画をし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

万一、ビデオカセットレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

液晶画面ついて

液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
液晶画面を太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

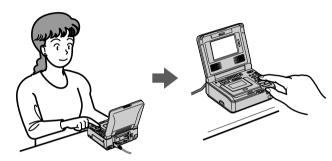
本書内の写真について

液晶画面の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

こんなことができます

動画や静止画を取りこみ、再生できます。

画像をパソコンに取り込めます。

さらにこんなことができます。

インパクトのある画像を作るための機能
- ピクチャーエフェクト（22ページ）
- デジタルエフェクト（24ページ）
- タイトル（28ページ）

録画し終わったテープで行う機能
- データコード（45ページ）
- テープ再生ズーム（26ページ）
- ゼロセットメモリー（27ページ）
- タイトルサーチ（38ページ）
- デジタルプログラムエディット（他機のテープへ）（49ページ）
- デジタルプログラムエディット（メモリースティックへ）（96ページ）
- バイリンガル（14ページ）
- カセットラベル（35ページ）

記録し終わった“ メモリースティック ”で行う機能
- メモリー再生ズーム（121ページ）

目次

故障かな？と思ったら

その他

検索する

準備1 電源を準備する

ご注意

- ACパワーアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。本機をご使用中に不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 電源コードを引っぱらないようにしてください。プラグがコンセントから抜けることがあります。
- 本機をACパワーアダプターに近づけすぎないでください。画面にノイズが出ることがあります。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

屋外では
バッテリーを使います。
（139ページ）

自動車の電源では
別売りのACアダプター／チャージャーAC-VQ850またはAC-SQ950と、カーバッテリーコードDCC-VQ1をお使いください。

❶ ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

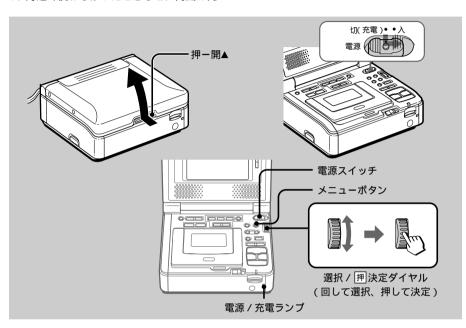
DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを右にしてつなぐ。

❷ 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

❸ 電源コードをコンセントにつなぐ。

準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと電源を入れるたびにお知らせメッセージが出ます。

4ヶ月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（148ページ）

日時設定すると
電源を入れたあと約5分間、画面の下側に日付と時刻が表示されます。

日時を設定しないと
テープと“メモリースティック”のデータコードには「---- -- --」「--:--:--」が記録されます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

❶ 電源を準備する。（6ページ）

❷ 押ー開 ▲ ボタンを押しながら、液晶パネルを開く。

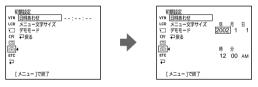
❸ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

本体前面の電源／充電ランプ（緑）が点灯する。

次のページへつづく

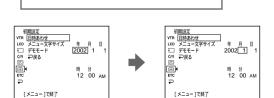
❹ メニューボタンを押して、メニュー画面を出す。

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して を選び、押して決定する。

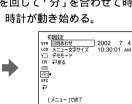
❻ 選択／押決定ダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、押して決定する。

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❼「年」を合わせる。

選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。

年表示は次のように変わる。

1995 ←····→ 2002←····→2079

❽ 手順7と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

❾ メニューボタンを押す。

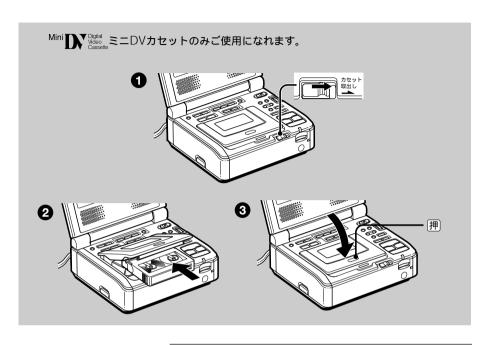
メニュー画面が消える。

準備

準備3 カセットを入れる

Mini DV Digital Video Cassette ミニDVカセットのみご使用になれます。

カセット取出し

押

ご注意

- カセットぶたが開いているときに、カセット入れに指を入れたり中を触ったりしないでください。故障の原因になります。
- 押マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。
- カセット入れが完全に開くまでカセットぶたを閉めないでください。故障の原因となります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために142ページをご覧ください。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

❶ カセット取出しつまみを矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に開く。

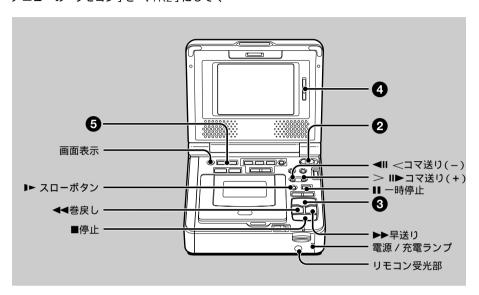
❷ テープ窓を上側にして入れる。

❸ 押マークを押して、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順❷で取り出す。

再生する

リモコンでも操作できます。
メニューの「リモコン」を「VTR2」にしてください。（お買い上げ時は「VTR2」に設定されています。）

画面表示を出すには
画面表示ボタンを押します。消すときは、もう一度押します。（45ページ）

長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

1 電源を準備して、再生したいカセットを入れる。

2 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

本体前面の電源／充電ランプ（緑）が点灯する。

3 ▷再生ボタンを押す。

再生が始まる。

4 明るさを調節する。

次のページへつづく

❺ **音量を調節する。**

再生を止める

■停止ボタンを押す。

再生が終わったら

❶ **電源スイッチを「切（充電）」にする。**

❷ **カセットを取り出す。**

❸ **液晶画面を閉じる。**

❹ AC**パワーアダプターを**DC IN**端子から抜く。**

変速再生中は

- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

再生一時停止が5分以上続くと

自動的に停止になります。再生するときは、もう1度▷再生ボタンを押します。

スロー再生について

本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし i DV端子から出力される画像にはこの機能は働きません。

逆方向再生について

画面の上下や中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

ヘッドホンで音を聞くには

ヘッドホン（別売り）を🎧（ヘッドホン）端子につなぎます。音量＋／－ボタンで音量調節ができます。ヘッドホンをつなぐとブザー音を除いてスピーカーから音は出ません。

いろいろな再生

一時停止する（静止画を見る）

［再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。

▷再生ボタンまたは❚❚一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

［停止中］に▶▶早送りボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

［停止中］に◀◀巻戻しボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

［再生中］に◀❚❚ ＜ボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

［再生中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

［早送り中］に▶▶早送りまたは［巻き戻し中］に◀◀巻戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

［再生中］に❚▶スローボタンを押す。

逆方向にスロー再生するときは、◀❚❚ ＜ボタンを押してから❚▶スローボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見る

［再生一時停止中］に＞ ❚❚▶コマ送り（+）ボタンを押す。

逆方向にコマ送りするときは、◀❚❚ ＜コマ送り（–）ボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る（倍速再生）

［再生中］にリモコンのX2ボタンを押す。

逆方向に倍速再生するときは、◀❚❚ ＜ボタンを押してからリモコンのX2ボタンを押す。

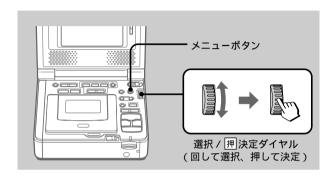
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

次のページへつづく

ステレオ放送や、二重音声放送を録画したテープを再生する

二重音声放送を記録したテープを再生するときは、メニューの「バイリンガル」を設定して、音声を選んでください。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 選択／押 決定ダイヤルを回してVTRを選び、押して決定する。

3 選択／押 決定ダイヤルを回して「バイリンガル」を選び、押して決定する。

4 選択／押決定ダイヤルを回し、音声を選んで、押して決定する。

音声について詳しくは143ページをご覧ください。

5 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

基本

ご注意

- 電源スイッチの切換やカセットの取り出しなどはリモコンで操作できません。
- ダブルデッキやVHSビデオカセットレコーダーのリモコンでは操作できないことがあります。

リモコンで操作する

本機に付属のリモコン、または他のソニー製品に付属のリモコンで本機を操作できます。

メニューの「リモコン」で、お使いになるリモコンのリモコンコードを合わせてください。（85ページ）

付属のリモコンのリモコンコードはVTR2です。

リモコンコード	ソニー製品
VTR1	ベータマックスビデオカセットレコーダー
VTR2	8mmビデオカメラレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー 8mmビデオカセットレコーダー
VTR3	VHSビデオカセットレコーダー
VTR4	デジタルビデオカセットレコーダー デジタルビデオカメラレコーダー
VTR5、VTR6	デジタルビデオカセットレコーダー

次のページへつづく

ワイドTV再生・記録

ソニーのデジタルビデオカメラでワイド撮影したテープは本機でワイド再生することができます。ID-1対応テレビに接続した場合は自動的にテレビのワイドモードが切り替わります。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビの接続について
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム（ID-1/ID-2）方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS（S1）映像入力端子に接続したとき。

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

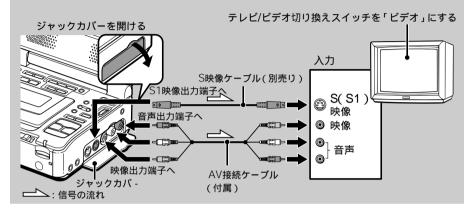
ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

S1映像信号とは
通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。

録画について
ワイドTV信号を本機で録画する場合は、本機で自動判別して、ワイドTV録画します。

テレビで見る

本機をS映像ケーブルやAV接続ケーブルでテレビにつなぐと、ビデオの再生をテレビ画面でたのしめます。接続ケーブルのプラグを本機やテレビの同色の端子につなぎます。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。本機の音量は最小にしてください。

別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像出力端子とテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

テレビ画面にデータコードなどの表示を出すには

メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし、画面表示ボタンを押します。消すときはもう一度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

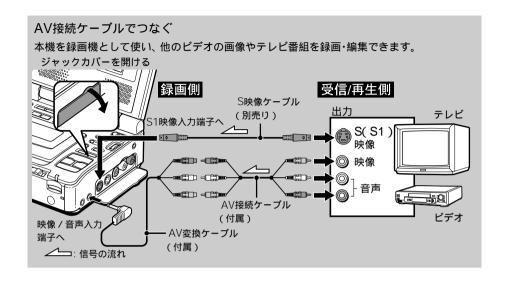
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声でお聞きになりたいときは市販の接続ケーブルをお使いください。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ご注意

再生側のビデオで早送りやスロー再生などを行うと、本機で録画中の画像が乱れることがあります。テープを通常速度で再生してください。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

❶ カセットを準備する。

本　機：電源を準備して、録画したいカセットを入れる。
再生機：ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に映る。

❺ 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

録画が終わったら

本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

ご注意

リモコンを使って録画するとき、再生側のビデオが誤作動することがあります。その場合、再生側のビデオのリモコンコードをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンを使って録画する

手順3で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順5でII一時停止ボタンを押して、録画を始める。

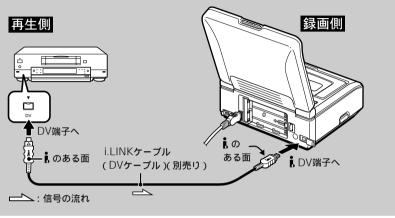
基本

次のページへつづく

ビデオやテレビから録画する（つづき）

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

ご注意

本機と異なるi.LINK仕様の機種では信号のやりとりができません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです。
i.LINKについて詳しくは145ページをご覧ください。

デジタルダビング編集中は
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響はありません。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

録画を始める前に
画面表示ボタンを押して、液晶画面に「DV入力」の表示が出るのを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：電源を準備して、録画したいカセットを入れる。

再生機：録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❸ 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ 再生機で再生する。

ビデオやテレビの画像が液晶画面に映る。

❺ 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

録画が終わったら

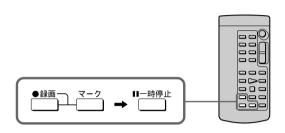
本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

ご注意

リモコンを使って録画するとき、再生側のビデオが誤作動することがあります。その場合、再生側のビデオのリモコンコードをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンを使って録画する

手順3で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順5で❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。

基本

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えて見ることができます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

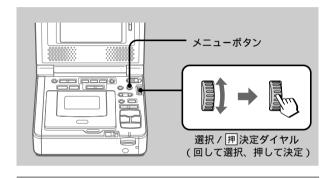
ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “メモリースティック”に取りこむか（92、94ページ）本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
i DV端子からは出力されません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止するとピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

1 [再生中] または [再生一時停止中] に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 **選択／押 決定ダイヤルを回してVTRを選び、押して決定する。**

3 **選択／押 決定ダイヤルを回して「ピクチャーエフェクト」を選び、押して決定する。**

❹ 選択／[押]決定ダイヤルを回して希望のモードを選び、押して決定する。

ビデオ設定
VTR ◀ピクチャーエフェクト　ネガアート
LCD　デジタルエフェクト
バイリンガル
音声ミックス
A/V入力→DV出力
↩戻る
ETC
［メニュー］で終了

❺ メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選び決定する。

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタル機能を使ってさまざまな演出を加えることができます。

スチル
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて再生する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り再生をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

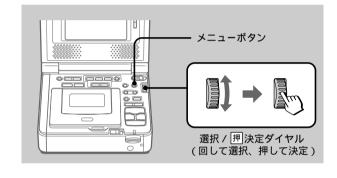
トレイル
被写体の動きが、尾を引くように再生する。

（ルミキー）
静止画　　動画

ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “メモリースティック”に取りこむか（92、94ページ）本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は
i DV端子からは出力されません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して VTR を選び、押して決定する。**

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して「デジタルエフェクト」を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して希望のモードを選び、押して決定する。

バーが表示される。
スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

スチル	再生中の動画の背景にある静止画の映り具合。
フラッシュ	フラッシュの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。

バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。

デジタルエフェクトを解除する

メニューの「デジタルエフェクト」で「切」を選び決定する。

応用

再生している画像を拡大する–テープ再生ズーム

再生しているテープの動画や静止画を拡大できます。

本機では“ メモリースティック ”に記録した静止画も拡大できます。（121ページ）

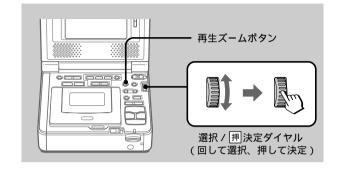
ご注意

- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 再生ズームを加えた画像は本機のテープに録画できません。“ メモリースティック ”に取りこむか（92、94ページ）本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます。

– 電源スイッチを「切(充電)」にする。
– 再生を停止する。
– メニューボタンを押す。

再生ズームを加えた画像は
i DV端子からは出力されません。

テープ再生ズームした画像を“ メモリースティック ”に保存するには
フォトボタンを押すと、表示中の画像を保存することができます。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に
再生ズームボタンを押す。

画像の中心部が2倍に拡大され、↑↓← →が表示される。

2 **選択／押 決定ダイヤルを回して拡大された画像を上下に動かし、押して決定する。**

↑：画像が上に移動する。
↓：画像が下に移動する。

3 **選択／押 決定ダイヤルを回して拡大された画像を左右に動かし、押して決定する。**

←：画像が右に移動する。
（ダイヤルを下へ回す）
→：画像が左に移動する。
（ダイヤルを上へ回す）

4 **リモコンのズームボタンで倍率を変える。**

ズームは1.1倍から5倍までの間で選べます。

W ：倍率を低くする。
T ：倍率を高くする。

テープ再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

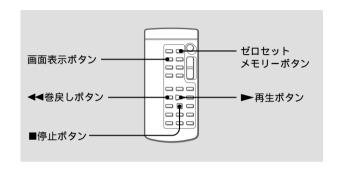
テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。
リモコンも使います。

再生中に、後からもう1度見たいと思う場面があったとき

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。

テープの途中に無記録部分があると
ゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

❶ ［再生中］に
画面表示ボタンを押す。

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の場面からもう1度再生される。

応用

タイトルを入れる

CM のみ カセットメモリー付きカセットを使うと、タイトルを入れることができます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。
本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（32ページ）の中から選んで、タイトルを入れることができます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

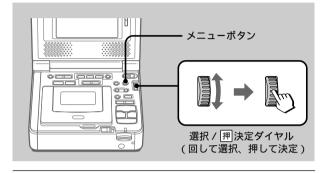
誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルが正しく表示されないことがあります。

本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのDVまたはMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

タイトルがたくさん打込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（83ページ）

❶ ［再生中］、［再生一時停止中］または［録画一時停止中］に
メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回してCMを選び、押して決定する。**

カセットメモリー設定
VTR タイトル　実行できます
LCD タイトル消去
タイトル表示
◀Cメモリーサーチ
カセットラベル作成
全消去
ETC ↩戻る
［メニュー］で終了

❸ **選択／押 決定ダイヤルを回して「タイトル」を選び、押して決定する。**

プリセットタイトル　CM
◀入学式
卒業式
たんじょうび
運動会
発表会
夏休み
祝
完
［メニュー］で終了

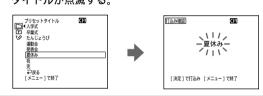
オリジナルタイトルを入れるときは
手順4で「[icon]」を選びます。

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズ決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

❹ 選択／[押]決定ダイヤルを回して[icon]を選び、押して決定する。

❺ 選択／[押]決定ダイヤルを回してタイトルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。

❻ 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順7にすすむ。

1 選択／[押]決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

選べる項目が出る。

2 選択／[押]決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

応用

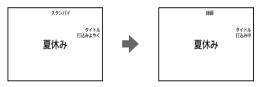
次のページへつづく

1つのカセットに記憶できるタイトルは
平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ/フォトデータ/カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。
- 日付データ　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル　1つ

カセットメモリーの容量がいっぱいのときは
「カセットメモリーがいっぱいです」のお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

7 タイトルを確認し、選択／押決定ダイヤルを押して、決定する。

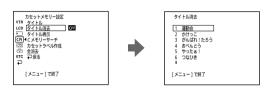
［再生中］、［再生一時停止中］のとき
［打込み中］の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

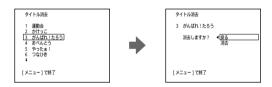
［録画一時停止中］のとき
［打込みよやく］の表示が出る。❚❚一時停止ボタンを押して録画を始めると同時に［打込み中］の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

タイトルを消す

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 選択／押決定ダイヤルを回してCMを選び、押して決定する。

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して「タイトル消去」を選び、押して決定する。

タイトル消去画面が出る。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して消したいタイトルを選び、押して決定する。

「消去しますか？」の表示が出る。

❺ 消去するタイトルを確認し、選択／押 決定ダイヤルで「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示にかわる。

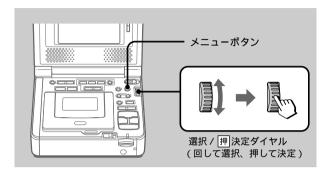
❻ 選択／押 決定ダイヤルを回して「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」の表示が点滅する。消去されると「完了」と表示される。

タイトルの消去を中止する

手順6で「戻る」を選び、押して決定する。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

1 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、CMを選び、押して決定する。

カセットメモリー設定
VTR タイトル 実行できます
LCD タイトル消去
タイトル表示
CM ◀ Cメモリーサーチ
カセットラベル作成
全消去
ETC 戻る

［メニュー］で終了

3 選択／押決定ダイヤルを回して「タイトル」を選び、押して決定する。

プリセットタイトル CM
◀入学式
卒業式
たんじょうび
運動会
発表会
夏休み
祝
完

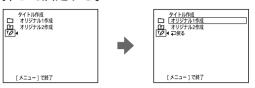
［メニュー］で終了

［きごう］を選ぶと
アルファベットや数字、漢字などが選べる画面が出ます。［かな］を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

文字を消すとき
［←］を選びます。一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
［ー＆　？！］の文字列の空白部分を選んでください。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して を選び、押して決定する。

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、押して決定する。

❻ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。

❽ 手順6、7を繰り返して希望のタイトルを作る。

次のページへつづく

❾ 選択／押決定ダイヤルを回して［完成］を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

❿ メニューボタンを押して、タイトル画面を消す。

作成したタイトルを変更する

手順5で変更したいオリジナルタイトルを選び、押して決定する。
[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

カセットに名前を付ける – カセットラベル

カセットメモリー付きカセットには、10文字までの名前を付けることができます。

名前を付けたカセットを入れ、電源スイッチを入れると、付けた名前が自動的に約5秒間表示されます。

誤消去防止状態のカセットには
名前を付けられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

タイトルがたくさん打込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でカセットに名前を付けられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

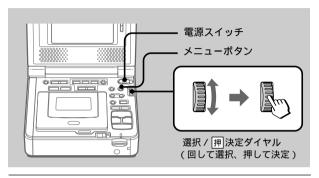
タイトルが入れてあると
カセットの名前が表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

[きごう]を選ぶと
アルファベットや数字、漢字などが選べる画面が出ます。[かな]を選ぶと、元の画面に戻ります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

文字を消すとき
[←] を選ぶと、一番後ろの文字が消えます。

空白をいれたいときは
［ー＆　？！］の文字列の空白部分を選んでください。

❶ 電源を準備し、名前を付けたいカセットを入れる。

❷ 電源スイッチを「入」にする。

❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

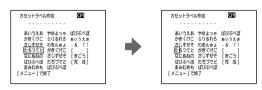
❹ 選択／押 決定ダイヤルを回してC/// を選び、押して決定する。

❺ 選択／押 決定ダイヤルを回して「カセットラベル作成」を選び、押して決定する。

カセットラベル作成画面が出る。

次のページへつづく

応用

❻ **選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。**

❼ **選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。**

❽ **手順6、7を繰り返して希望のカセットラベルを作る。**

❾ **選択／押決定ダイヤルを回して［完成］を選び、押して決定する。**

カセットラベルが記憶される。

作成したカセットラベルを消す

手順7で［←］を選んで、押して消す。

作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

カセットメモリーのデータを全て消去する

カセットメモリーに保存されている全てのデータを一度に消去することができます。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **メニューボタンを押してメニュー画面を出す。**

3 選択／押決定ダイヤルを回してCMを選び、押して決定する。

4 選択／押決定ダイヤルを回して「全消去」を選び、押して決定する。

5 選択／押決定ダイヤルを回して「消去」を選び、押して決定する。

「消去」が「消去します」の表示にかわる。

6 選択／押決定ダイヤルを回して「消去します」を選び、押して決定する。

「消去中」の表示が点滅する。
消去されると「完了」と表示される。

消去を中止する

手順6で「戻る」を選び決定する。

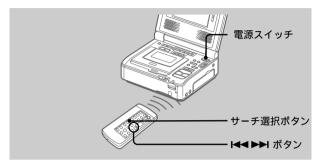
タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます。リモコンも使います。

タイトルを入れた場面を探したいとき

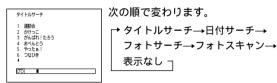
カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

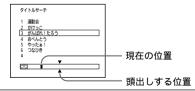
テープの途中に無記録部分があると
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

タイトルを入れるには
28ページをご覧ください。

メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時には「入」に設定されています。）

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。**

タイトルサーチ画面が出る。

❸ **リモコンの⏮ または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。**

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

ビデオカメラレコーダーで撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
リモコンも使います。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

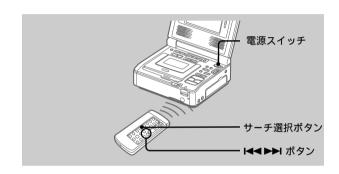
■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

- 本機で録画した日付データは日付サーチできません。
- 日付や時刻を合わせないで、撮影したテープでは、日付サーチは働きません。
- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

テープの途中に無記録部分があると
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは
6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」（40ページ）の手順で検索してください。

カセットメモリーを使って頭出しする

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

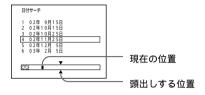
日付サーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし

応用

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して C/M を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して「Cメモリーサーチ」で「切」を選び、押して決定する。

❺ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→日付サーチ → フォトサーチ
表示なし ← フォトスキャン

❻ リモコンの⏮またはⅠ⏭ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す – フォトサーチ/フォトスキャン

ビデオカメラレコーダーでテープフォト撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ)。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。

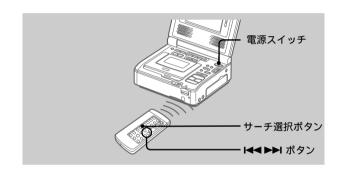
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン)。
リモコンも使います。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するとき

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

テープの途中に無記録部分があると
フォトサーチ/フォトスキャンが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは
12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

カセットメモリーを使って静止画を探す －フォトサーチ

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「入」にする。

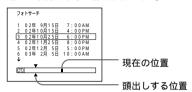
❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

フォトサーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→表示なし

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す ーフォトサーチ

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回してC//を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して「Cメモリーサーチ」で「切」を選び、押して決定する。

応用

❺ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

→ 日付サーチ ――→ フォトサーチ
　 表示なし ←―― フォトスキャン

❻ リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

■ 停止ボタンを押す。

静止画を次々に探すーフォトスキャン

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトスキャン」を選ぶ。

フォトスキャン画面が出る。

次の順で変わります。

→ 日付サーチ ――→ フォトサーチ
　 表示なし ←―― フォトスキャン

❸ リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。

静止画が順に5秒ずつ再生される。

フォトスキャンを止める

■ 停止ボタンを押す。

テープカウンター、日付データ／カメラデータなどの表示を出す–画面表示機能

本機で録画したテープは、再生中に録画したときの日付・時刻を確認できます。また、データコード機能付きのDV方式のビデオカメラレコーダーで撮影したテープでは再生中に、撮影したときの日付・時刻やカメラデータを確認できます。

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。

次のときは、「-- -- --」を表示します。
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは
本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも出ます。

再生中のバッテリー残量表示について
連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

テープカウンターなどの表示を出す

画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう1度押す。

応用

日付データは
録画中でも確認できます。

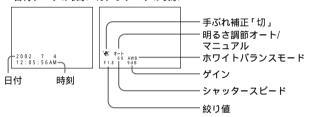
日付データ／カメラデータ表示を出す

リモコンでのみ操作できます。

撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。

1　電源スイッチを「入」にして、テープを再生する。

2　リモコンのデータコードボタンを押す。

押すたびに次のように表示が変わります。
「日付データの表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付／カメラデータ」を選ぶ。（85ページ）

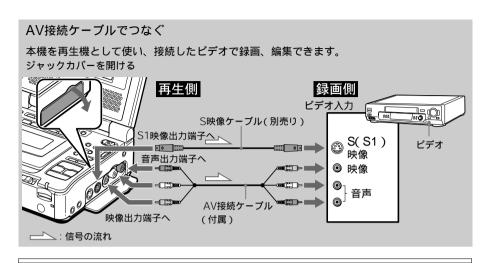
リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」←→ 表示なし

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画、編集できます。

ジャックカバーを開ける

録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます。
8,Hi8,VHS,VHSC,SVHS,SVHSC,β,ED Beta,Mini DV,DV,D8

録画機の音声入力がひとつ（モノラル）の場合
AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 画面表示ボタン、リモコンのデータコードボタン/サーチ選択ボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。

❶ カセットを準備する。

本機　：電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。
録画機：ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

ビデオ入力端子にAV接続ケーブルをつなぐ。
入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

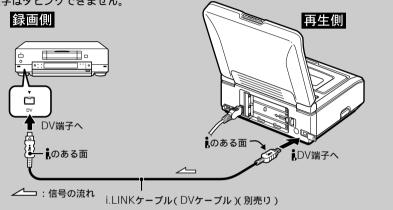
次のページへつづく

他のビデオへダビングする（つづき）

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、“ メモリースティック ”のインデックス画面の文字はダビングできません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです
i.LINKについて詳しくは、145ページをご覧ください。

「ピクチャーエフェクト」「デジタルエフェクト」「再生ズーム」を加えた画像は
DV端子からは出力されません。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：電源を準備して、録画済みのカセットを入れる。

録画機：ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

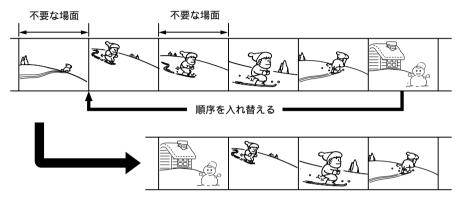
必要な場面を選びダビングする
– デジタルプログラムエディット（他機のテープへ）

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、録画機を操作せずに他機のテープに簡単にダビングできます。

場面はフレーム単位で選べます。

最大20プログラムまで設定できます。

本機の“ メモリースティック ”にもダビングできます。詳しくは96ページをご覧ください。

ご注意

- i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したとき、録画機の機種により正しく操作できない場合があります。本機の「コントロール選択」を「リモコン」に設定してください。
- 他機のテープへのデジタルプログラムエディットの操作信号は、LANC端子では送信できません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

他機のテープへのデジタルプログラムエディットには、次の準備が必要です

準備1： 録画機をつなぐ。（49ページ）

準備2： 録画機を操作するための設定をする。（50、54ページ）

準備3： 録画機のタイミングを補正する。（56ページ）

上記の準備を1度行なった録画機を使用する場合は準備2、3は不要です。

操作は以下の順で行ないます

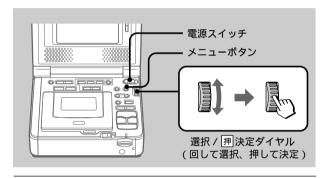
操作1： プログラムをつくる。（58ページ）

操作2： プログラムを実行する（ダビングする）。（61ページ）

準備1 録画機をつなぐ

AV接続ケーブル、i.LINKケーブル（DVケーブル）どちらでも接続できます。AV接続ケーブルの場合は47ページ、i.LINKケーブル（DVケーブル）の場合は48ページの図のように接続します。

準備2 録画機を操作するための設定をする ー AV接続ケーブルで接続した場合

AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。
正しく信号を送るために、以下の設定（❶～❹）を行ってください。

❶ リモコンコードを設定する。

1 本機の電源スイッチを「入」にする。

2 録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。

録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

4 選択／押 決定ダイヤルを回して、ETC を選び、押して決定する。

5 選択／押 決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。

リモコンコードについて
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの機器のリモコンコードを設定してください。お買い上げ時、本機は「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、56、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

リモコンコードが対応していない機種は、デジタルプログラムエディットはできません。

6　選択／[押]決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

7　選択／[押]決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。

8　選択／[押]決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。

9　選択／[押]決定ダイヤルを回して、「リモコン」を選び、押して決定する。

10　選択／[押]決定ダイヤルを回して、「リモコンコード」を選び、押して決定する。

11　選択／[押]決定ダイヤルを回して、録画機のリモコンコード（番号）を選び、押して決定する。

「リモコンコードについて」を参照する。

録画一時停止解除モードについて

お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。（ボタンの種類は録画機により異なります。）

それぞれのボタンに合った録画一時停止解除モードを設定してください。

録画機のボタン	録画一時停止解除モード
❚❚（一時停止）	「一時停止」
●（録画）	「録画」
►（再生）	「再生」

❷ 録画機の録画一時停止解除モードを設定する

1 選択／押決定ダイヤルを回して、「一時停止解除モード」選び、押して決定する。

2 選択／押決定ダイヤルを回して、録画機の録画一時停止解除モードを選び、押して決定する。

録画機の取扱説明書をご確認ください。

❸ 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm以上離し、間に障害物等がない状態にする。

❹ 録画機が正しく動作するか確認する。

1 **録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。**

2 **選択／押決定ダイヤルを回して、「リモコンテスト」を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。**

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。

終了すると本機の液晶画面の表示は「完了」に変わる。

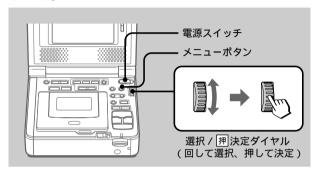
```
プログラムエディット          0:08:55:06
 エディット設定
   コントロール選択
   タイミング補正
    ”ここから ”補正
    ”ここまで ”補正
   リモコンコード
   一時停止解除モード
  [リモコンテスト]  完了
   ↩戻る
［メニュー］で終了
```

録画機が正しく動作しないとき

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
タイトル、画面表示はダビングできません。

準備2 録画機を操作するための設定をする ーi.LINKケーブル（DVケーブル）で接続した場合

i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したときはこの設定を行ないます。

❶ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❷ 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」にする。

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、ETC を選び、押して決定する。

5 **選択／押決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。**

その他
VTR データコード
LCD 時差補正
お知らせブザー
リモコン
画面表示
プログラムエディット 戻る
ETC 戻る 他機のテープへ
メモリースティックへ
［メニュー］で終了

6 **選択／押決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。**

プログラムエディット 0:08:55:06
マーク 1 ここから
マークとりけし
全消去
スタート
エディット設定
トータル 0:00:00:00
プログラム 0
［メニュー］で終了

7 **選択／押決定ダイヤルを回して、「エディット設定」を選び、押して決定する。**

プログラムエディット 0:08:55:06
エディット設定
コントロール選択 リモコン
タイミング補正
"ここから"補正
"ここまで"補正
リモコンコード
一時停止解除モード
リモコンテスト
戻る
［メニュー］で終了

8 **選択／押決定ダイヤルを回して、「コントロール選択」を選び、押して決定する。**

プログラムエディット 0:08:55:06
エディット設定
コントロール選択 リモコン
タイミング補正 i.LINK
"ここから"補正
"ここまで"補正
リモコンコード
一時停止解除モード
リモコンテスト
戻る
［メニュー］で終了

9 **選択／押決定ダイヤルを回して、「i.LINK」を選び、押して決定する。**

編集

次のページへつづく

ご注意

- タイミング補正用の画像が約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）接続で録画機の操作がうまく行えないときは、接続はそのままで、AV接続ケーブルでの設定（50ページ）を行ってください。映像/音声はデジタル信号で送られます。

準備3 録画機のタイミングを補正する

筆記具をご用意ください。

本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。

本機のテープを取り出しておいてください。

❶ 本機の電源を「入」にする。

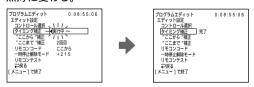
❷ 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは、録画一時停止にする必要はありません。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して、「タイミング補正」を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った画像が録画される。

終了すると本機の表示は「実行中」の点滅から「完了」の点灯に変わる。

❺ 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。

5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。

❻ 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して、「”ここから”補正」を選び、押して決定する。

❽ 選択／押決定ダイヤルを回して、「ここから」の平均値の数値を選び、押して決定する。

録画開始のタイミングが補正される。

❾ 選択／押決定ダイヤルを回して、「”ここまで”補正」を選び、押して決定する。

❿ 選択／押決定ダイヤルを回して、「ここまで」の平均値の数値を選び、押して決定する。

録画停止のタイミングが補正される。

⓫ 選択／押決定ダイヤルを回して、「戻る」を選び、押して決定する。

編集

ご注意

デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。

テープの無記録部分には
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があると
タイムコードが正しく表示されません。

操作1 プログラムをつくる

1 電源を準備して、本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。

2 メニューボタンを押してメニュー画面を出す。

3 選択／押決定ダイヤルを回して、ETCを選び、押して決定する。

4 選択／押決定ダイヤルを回して、「プログラムエディット」を選び、押して決定する。

5 選択／押決定ダイヤルを回して、「他機のテープ」を選び、押して決定する。

6 ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。

◀II〈または〉II▶ボタンで微調節できます。

❼ 選択／押決定ダイヤルで「マーク」を選び、押して決定する。またはリモコンのマークボタンを押す。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❽ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

❾ 選択／押決定ダイヤルで「マーク」を選び、押して決定する。またはリモコンのマークボタンを押す。

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

❿ 手順6〜9を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。
最大20プログラムまで設定できます。

プログラムエディット 0:10:01:23
マーク 4 ここから
マークとりけし
全消去
スタート
エディット設定
トータル 0:00:47:12
プログラム 3
[メニュー] で終了

編集

次のページへつづく

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

❶ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「マークとりけし」を選び、押して決定する。

❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順の2で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムの全消去

❶ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選ぶ。

❷ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

❸ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「全消去」を選び、押して決定する。

❹ 選択／押 決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。

全消去を中止する

手順の4で「戻る」を選び、押して決定する。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

以下の場合には、録画機で録画できません

- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。(「リモコン」に設定したとき)
- 録画一時停止解除モードがまちがっている。(「リモコン」に設定したとき)

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません

- プログラムが未設定
- i.LINKケーブル(DVケーブル)を接続していない。(「i.LINK」に設定したとき)
- 接続している録画機の電源が入っていない。(「i.LINK」に設定したとき)

操作2 プログラムを実行する(ダビングする)

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。(i.LINKケーブル(DVケーブル)での接続のときは不要です。)

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

1 メニューで[ETC]の項目の「プログラムエディット」を選ぶ。

2 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「他機のテープへ」を選び、押して決定する。

3 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「スタート」を選び、押して決定する。

4 選択/[押]決定ダイヤルを回して、「実行」を選び、押して決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。

本機の液晶画面の表示は、サーチ中は「サーチ中」と表示される。

ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。

ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

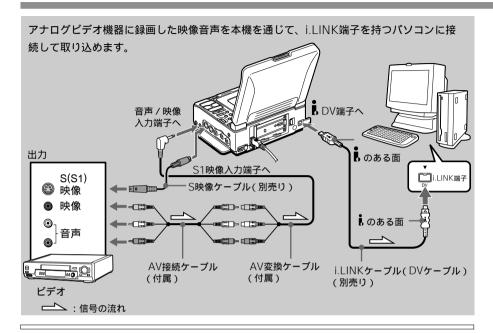
ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

デジタルプログラムエディットを終了する

ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。

メニューボタンを押し、表示を消す。

アナログ機器とパソコンをつないで使う
ーデジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像音声を本機を通じて、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取り込めます。

ご注意

- ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しい映像を出力することができないことがあります。
- 著作権保護の為の信号（ID-2方式など）が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。
- AV接続ケーブル（付属）のかわりにS映像ケーブル（別売り）を使ってパソコンに取り込むことができます。

USB端子があるパソコンでは
USBケーブルを使って接続することができますが映像がなめらかに映らないことがあります。（69ページ）

❶ **本機の電源スイッチを「入」にする。**

❷ **メニューボタンでメニュー画面を出す。**

❸ **選択／押決定ダイヤルを回してVTRを選んで、押して決定する。**

❹ **選択／押決定ダイヤルを回して「A/V入力→DV出力」を「入」にする。**

❺ **アナログビデオ機器で再生を始める。**

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

パソコンで取り込み動作を始める。

取り込むための操作は、パソコンでお使いになるソフトウェアによって異なります。操作について詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器の再生を停止する。

録画したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。

リモコンも使います。

18ページまたは20ページの接続と準備をし、挿入したい部分の入ったテープを他機に入れておきます。

(a)

テープの走行方向

挿入したい部分

挿入したい部分の入ったテープ（他機）

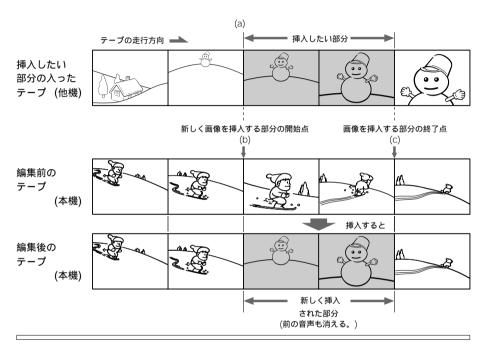
新しく画像を挿入する部分の開始点
(b)

画像を挿入する部分の終了点
(c)

編集前のテープ（本機）

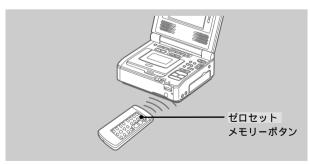
挿入すると

編集後のテープ（本機）

新しく挿入された部分
(前の音声も消える。)

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオで録画したテープに挿入すると
画質や音質が劣化することがあります（本機以外のGV-D1000を含む）。本機で録画されたテープに挿入することをおすすめします。

新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

❶ 本機の電源スイッチを「入」にする。

終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

❷ 他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。

❸ 本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。

❹ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。

「ゼロセットメモリー」表示が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

❺ 本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐにII一時停止ボタンを押す。

❻ 他機（再生側）の一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機のII一時停止ボタンを押す。

本機の挿入部分に、新たに他機（再生側）の映像と音声が記録され始める。

テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

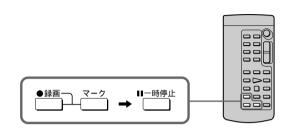
次のページへつづく

録画したテープに新しく画像を挿入する（つづき）

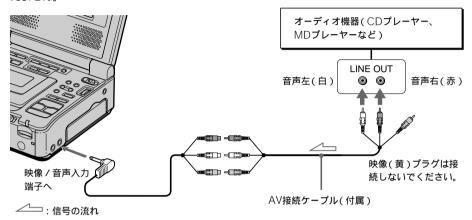
ご注意

リモコンを使って録画するとき、再生側のビデオが誤作動することがあります。その場合、再生側のビデオのリモコンコードをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンを使って録画する

手順5で●録画ボタンとマークボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押して本機を録画一時停止にする。手順6で❚❚一時停止ボタンを押して、記録を始める。

録画済みテープに音声を追加する – アフレコ

オーディオ機器とつないで、12BITの録画モードで記録されたテープの指定した部分に音声を追加できます。元のテープの音声は消えません。

リモコンも使います。

ご注意

- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- i DV端子を使って再生一時停止の画像をダビングした部分にはアフレコできません。
- テープの無記録部分にはアフレコできません。

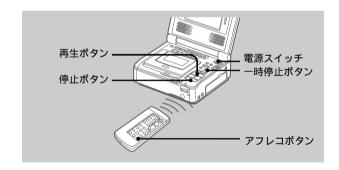
i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると
アフレコできません。

別売りの外部マイクでアフレコするには
オーディオ機器のマイク端子に別売りの外部マイクをつないでください。

❶ 電源を準備して本機に録画済みカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「入」にする。

編集

次のページへつづく

本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。
他のビデオ（GV-D1000を含む）で録画したテープでアフレコすると音質が劣化することがあります。

誤消去防止状態のカセットでは
アフレコできません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

再生一時停止が5分以上続くと
自動的に停止になります。

ご注意

S1映像端子、映像／音声端子から映像は出力されません。画像は液晶画面で確認してください。
アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。

❸ アフレコの開始点を決める。

▷再生ボタンを押して再生し、アフレコを始めたいところで❚❚一時停止ボタンを押す。

❹ リモコンのアフレコボタンを押す。

緑色の⊖❚❚マークが出る。

❺ ❚❚一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録する。
アフレコ中は画面上に赤色の⊖マークが出る。

❻ アフレコを終了したいところで■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューのVTRの項目の「音声ミックス」を選び、撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）のバランスを調整します。（81ページ）

お買い上げ時はステレオ1のみの音声が出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして5分たつとバランスはステレオ1のみの音声が出る設定に戻ります。

パソコンでテープの画像を見る
(Windowsをご使用の方のみ)

本機とパソコンをUSB接続すると、本機の再生画像をパソコンで見ることができます。さらに画像を取り込むと、パソコンのソフトウェアで加工したり、Eメールに添付したりできます。

ここでは本機とパソコンとのUSB接続のしかたと、付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ImageMixer for Sony」を使って画像の取り込みを説明します。以下の手順をおこなってください。

- **USBドライバをインストールする** **(70ページ)。**
- **「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールする** **(74ページ)。**
- **「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」で画像を取り込む** **(75ページ)。**

パソコンの推奨使用環境

OS：Microsoft Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
Windows 98では音声が出ません。静止画はキャプチャーできます。

CPU：Intel PentiumIII 500MHz以上が必要です。(PentiumIII 800MHz以上を推奨します。)

必要ソフトウェア：DirectX8.0a 以降が必要です。

サウンドカード：16bitステレオサウンドカード及びスピーカー

メモリ：64MB以上が必要です。

ハードディスク：インストールに必要なディスク容量：約200MB

推奨するハードディスクの空き容量：1GB以上(動画など編集するサイズによります。)

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、HighColor(16bitカラー、65,000色)、Direct Drawドライバ対応(800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。)

その他：Direct Xテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirect Xが組み込まれている必要があります。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

> **Macintoshではこの機能は操作できません。**

ご注意

- 1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

次のページへつづく

USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、本機に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトウェアとともに収録されています。

操作はUSBケーブルをパソコンに接続せずに始めてください。
USBケーブルは手順８で接続してください。

USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。72、73ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合

Windows 2000 Professional、Windows XPをお使いの場合、Administrator権限でログインしてください。

❶ **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

❷ **本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**
アプリケーションソフトの画面が起動します。

❸ **CD-ROMに入っているアプリケーションソフトの画面が起動したら、「USB Driver」をクリックする。**

USBドライバのインストール画面が起動します。

❹ 画面の指示に従ってUSBドライバをインストールする。

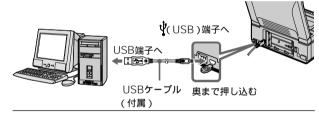
❺ USBモード切換スイッチをビデオ側にする。

お買い上げ時は「ビデオ」に設定されています。

❻ ACパワーアダプターを本機に接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込む。

❼ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❽ CD-ROMを入れた状態で本機に付属のUSBケーブルで本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

パソコンからの通信が始まります。パソコンが本機を確認し、Windowsのドライバをインストールします。

❾ 画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。

3種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは3回起動します。途中で中断せずに最後までインストールしてください。

Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XPをお使いの場合のみ

❿ 「ファイルが必要」の画面が表示されたら、「参照」→「マイコンピュータ」→「IMAGEMIXER」→「Sonyhcb.sys」を選択し、「OK」を押す。

インストールが完了したら、74ページへお進みください。

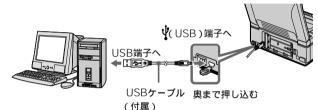
編集

次のページへつづく

USB接続ができない場合

USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したためUSBドライバが誤って登録されています。正しくインストールするためには、以下の手順を行ってください。

手順1：誤って登録されたUSBドライバをアンインストールする

1. パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
2. 本機に付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

3. ACパワーアダプターを接続して本機の電源スイッチを「入」にする。
4. パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。

   Windows XPをお使いの場合：

   「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「ハードウェア」タブを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   「コントロールパネル」をクリックした後に「作業する分野を選びます」の中に「システム」がない場合は「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。

   Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

   「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→→「システム」を選択し、「ハードウェア」タブを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

   上記OS以外：

   「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャ」をクリックする。

5　下線で示したデバイスを選び削除する。

Windows 98SE

Windows Me

Windows 2000
Prefessional

Windows XP

6　本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。

7　パソコンを再起動する。

手順2：付属のCD-ROMよりUSBドライバをインストールする

70ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

編集

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールする

本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」を使うと、本機で録画した動画データをお使いのパソコンで手軽に見ることができます。

Windows 2000 Professionalに「PIXLA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールしてお使いになる場合は、Power UserまたはAdministratorの権限が必要です。また、Windows XPに「PIXLA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールしてお使いになる場合は、「コンピュータの管理者」の権限が必要です。

❶ パソコンの電源を入れる。

パソコンを使用中の場合には、使用中のアプリケーションはすべて終了させてください。

❷ 本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

タイトル画面が表示されます。

表示されない場合は、「マイコンピュータ」→「ImageMixer」（CD-ROMドライブ）を選択してください。

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。

❸ タイトル画面の中の「PIXELA ImageMixer」の部分に矢印（マウスポインタ）を動かし、左クリックする。

インストールウィザードプログラムが起動し、「設定言語の選択」画面が表示されます。

❹ 言語を選択する。

5 画面の指示に従って操作する。

インストールが終了すると、インストール画面が消えます。

画面の指示に従ってDirect Xをインストールする

DirectX8.0がインストールされます。

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」で画像を取り込む

Windows 2000 Professionalに「PIXLA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールしてお使いになる場合は、Power UserまたはAdministratorの権限が必要です。また、Windows XPに「PIXLA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールしてお使いになる場合は、「コンピュータの管理者」の権限が必要です。

画像を見る

1 本機のUSBモード切換スイッチをビデオ側にする。

お買い上げ時はビデオ側に設定されています。
USBケーブルをつなぐ前に行ってください。

2 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

3 本機に付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

ご注意

- USB接続で画像を見ているときに、以下のようなことがありますが故障ではありません。
  - 画像が上下に揺れる。
  - 画像によってはノイズが出るなど正しく表示されない。
  - 本機とカラー方式が異なる画像が正しく表示されない。
- 本機の画面表示はパソコンに取り込まれません。

USB接続してパソコンに画像が映らないときは

USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。72、73ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

不具合が生じたときは

アプリケーションを終了してからもう一度起動し直してください。

以下の操作を行うときは、動画編集アプリケーションを終了してから行ってください。

－USBケーブルを抜く
－電源を入れるまたは切る
－USBモード切換スイッチを切り換える

編集

次のページへつづく

本機とパソコンをUSB接続したまま、下記接続をするとカメラに映っている画像をリアルタイムにパソコンに取り込むことができます。

－本機にカラービデオカメラを接続する。

－本機にビデオカメラレコーダーをi.LINK接続する。

－本機にビデオカメラレコーダーをアナログ接続*する。

* S映像入力端子または映像/音声入力端子を使った接続

❹ 本機にACパワーアダプターを接続し、カセットを入れる。

❺ 本機の電源スイッチを「入」にする。

❻ Windows上で「スタート」→「プログラム」「Pixela」→「ImageMixer」→「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の順に開く。

❼ 画面左端の をクリックする。

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の起動画面が表示されます。

❽ をクリックする。

❾ 本機の▷再生ボタンを押す。

テープの画像がプレビュー画面に映ります。

画像を取り込む

STILL：**静止画を取り込む**

❶ をクリックする。

❷ プレビュー画面を見ながら取り込みたい部分で をクリックする。

静止画がキャプチャーされます。キャプチャーされた画像はサムネールリストウィンドウに表示されます。

MOVIE：**動画を取り込む**

❶ をクリックする。

❷ プレビュー画面を見ながら取り込みたい部分の開始点で をクリックする。

❸ プレビュー画面を見ながら取り込みたい部分の終了点で をクリックする。

動画がキャプチャーされます。キャプチャーされた画像はサムネールリストウィンドウに表示されます。

次のページへつづく

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」のオンラインヘルプ（取扱説明）を見る

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」には、「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の詳しい操作方法を調べることができるオンラインヘルプが用意されています。

❶ 画面右上の をクリックする。

オンラインヘルプ画面が表示されます。

❷ 知りたい内容について、目次から調べたり、キーワードを指定して検索したりすることができます。

オンラインヘルプを閉じる

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony ヘルプ」画面右上の をクリックします。

ImageMixer for Sonyに関するお問合わせ

PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sonyはピクセラ社製です。お問い合わせはピクセラ社までお願い致します。

詳しくは付属のCD-ROMの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使用するときのご注意

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

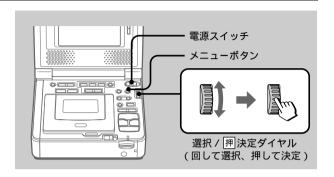
メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- VTR ビデオ設定
- LCD パネル設定
- メモリー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ 電源スイッチを「入」にする。

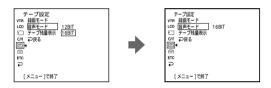
❷ メニューボタンを押して、メニュー画面を出す。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。

お買い上げ時の設定を変える

次のページへつづく

❹ 選択／[押]決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

❺ 選択／[押]決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。

❻ 必要なだけ手順3〜5を繰り返す。

手順3に戻るには、選択／[押]決定ダイヤルを回して「↩戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（81ページ）をご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

この取扱説明書では、上記の手順で項目を選び、実行することを［メニューで「アイコン」の項目の「（項目名）」を選び決定する］と表記しています。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）
VTR ピクチャーエフェクト	—	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。(22ページ)
デジタルエフェクト	—	デジタル機能を使って、画像に演出を加える。(24ページ)
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。(14ページ)
	メイン	左音声または主音声で再生する。
	サブ	右音声または副音声で再生する。
音声ミックス	—	音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。(68ページ) ST1 ▲ ST2
A/V入力→DV出力	●切	本機を通してデジタルの画像音声をアナログ出力する。
	入	本機を通してアナログの画像音声をデジタル出力する。(62ページ)
LCD パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面のバックライトを標準の明るさにする。
	明るい	液晶画面のバックライトをより明るくする。
パネル色のこさ	—	液晶画面の色のこさを選択／押 決定ダイヤルを回して、バーで調節する。 うすくなる ▲ こくなる

「パネルバックライト」は
「明るい」を選ぶとバッテリー使用時間が約１割短くなります。

「パネルバックライト」、「パネル色のこさ」は
調節しても記録される画像に変化はありません。

アイコン/項目			設定	設定の意味（参照ページ）
静止画画質設定			●ファイン	高画質で静止画を記録する。（88ページ）
			スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。
	ムービー設定			
		画像サイズ	●320×240	動画を320×240サイズで記録する。（89ページ）
			160×112	動画を160×112サイズで記録する。
		メモリー残量表示	●オート	以下の時にメモリー残量を表示する。 • 画面表示を出しているときに“ メモリースティック ”を入れた後、5秒間。 • 画面表示を出しているときにメモリー残量が1分未満になったとき。 • 動画記録が終了してから5秒間。
			入	メモリー残量を常に表示する。
	プリントマーク		入	プリントしたい静止画にプリントマークをつける。（128ページ）
			●切	静止画のプリントマークを解除する。
	プロテクト		入	画像を誤消去しないようにする。（124ページ）
			●切	画像の誤消去防止指定を解除する。
	スライドショー		—	スライドショーをする。（123ページ）
	オートフォトコピー		—	テープの静止画を“ メモリースティック ”にコピーする。（100ページ）
	全消去		—	プロテクトのかかっていない全ての画像を消去する。（126ページ）

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）
フォーマット	●戻る	フォーマットを中止する。
	フォーマット	本機に入れた“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）する。 1「フォーマット」の項目を選ぶ。 2 選択／押 決定ダイヤルを回して「フォーマット」を選び決定する。 3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、選択／押 決定ダイヤルを押す。「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。
タイトル	—	タイトルを入れたり、オリジナルタイトルを作る。（28、32ページ）
タイトル消去	—	タイトルを消去する。（30ページ）
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。
	切	タイトルを出さない。
Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。（38、39、42ページ）
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。
カセットラベル作成	—	カセットに名前を付ける。（35ページ）
全消去	—	カセットメモリーのデータをすべて消去する。（36ページ）

フォーマットについて

- 別売りの“ メモリースティック ”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示された時は、フォーマット（初期化）してください。

フォーマット（初期化）すると“ メモリースティック ”の記録内容は消去されます
画像にプロテクトをかけていても消去されます。

次のページへつづく

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン/項目		設定	設定の意味（参照ページ）
[録画アイコン]	録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。
		LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。
	音声モード	●12BIT	12ビット（2つのステレオ音声）の記録ができる。
		16BIT	16ビット（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。
	テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 画面表示を出しているときにテープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 • ▷再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。
		入	テープ残量を常に表示する。
[その他アイコン]	日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（7ページ）
	メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。
		2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。
	デモモード	●切	デモンストレーションを表示しない。
		入	本機の機能を一覧できる。

LPモードについて

- LPモードにして本機で録画したテープは本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで録画するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを「16BIT」にすると
アフレコできません。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは
音声ミックスのバランス調節をすることができません。

デモモードについて

- カセットが入った状態では操作できません。
- “ メモリースティック ”が入った状態では操作できません。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）
ETC データコード	●日付/カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。（45ページ）
	日付データ	日付・時刻を表示する。
時差補正	—	時差の設定をする。 選択／押 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。
おしらせブザー	●メロディー	誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。
	切	メロディー、ブザーが鳴らない。
リモコン	●VTR 2	付属のリモコンを使って本機を作動させる。
	VTR1～6	他のソニー製のリモコンを使って本機を作動させる。（15ページ）
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。
画面表示	●パネル	タイムコードなどの画面表示を液晶画面に出す。
	ビデオ出力/パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。
プログラムエディット	●戻る	プログラムエディットを中止する。
	他機のテープへ	プログラムを作成し、他機のテープへダビングする。（49ページ）
	メモリースティックへ	プログラムを作成し、“ メモリースティック ”へダビングする。（96ページ）

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で出力しているとき、画面表示は出ません。

電源をはずして5分以上たつと

「バイリンガル」、「音声ミックス」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

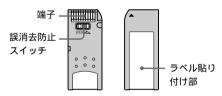
“ メモリースティック ”を使う – はじめに

別売りの“ メモリースティック ”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。
– 画像をテープから“ メモリースティック ”、“ メモリースティック ”からテープへ取りこむ。
– 別売りのパソコン接続キット等を使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
– 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

静止画の圧縮形式（JPEG）
本機は、静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

動画の圧縮形式（MPEG）
本機は、動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

画像のデータファイル名
静止画の場合
– 本機の画面表示：100-0001
– パソコンの画面表示：Dsc00001.jpg
動画の場合
– 本機の画面表示：MOV00001
– パソコンの画面表示：Mov00001.mpg

“ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- モデルによっては、スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

画像の互換性について

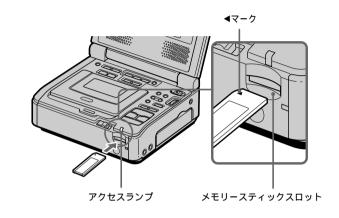
- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、83ページの手順にしたがい本機でフォーマット初期化）をしてください。
  フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

- “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）、MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。
- WindowsおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer Inc.の商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
データの読み込み、または書き込みを行っています。
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

「メモリースティックエラー」と表示されたときは
“ メモリースティック ”を2、3度入れ直してください。それでも表示が出るときは、“ メモリースティック ”が壊れていることがあります。“ メモリースティック ”を交換してください。

“ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”の◀マークを下の図のようにして奥まで押しこむ。

“ メモリースティック ”を取り出す

“ メモリースティック ”を軽く1回押して取り出す。

ご注意

- 画像によっては、画質を変えても、差が出ないことがあります。
- 動画の画質は選べません。

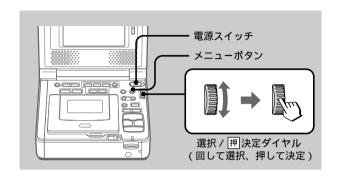
画質モードの違いは
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質により、次のようになります。

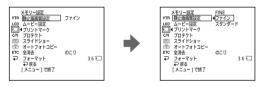
画質	メモリー容量
ファイン	約100Kバイト
スタンダード	約60Kバイト

画質表示は
再生時は表示されません。

画質を選ぶと
画質に合った記録可能枚数が表示されます。

画質について

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「ファイン」に設定されています。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **メニューでの項目の「静止画画質設定」を選び決定する。**（82ページ）

❸ 選択／押決定ダイヤルで希望の画質を選び決定する。

画質について

設定	意味
ファイン 表示：FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。
スタンダード 表示：STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

画像サイズについて

記録時

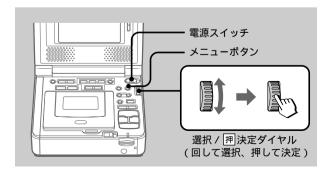
静止画：「640×480」のみとなります。

動画　：「320×240」または「160×112」
メニューの「画像サイズ」から選ぶことができます。（お買い上げ時は「320×240」に設定されています。）

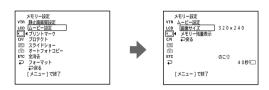
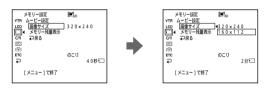
再生時

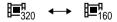
静止画：「1360×1020」、「1152×864」または「640×480」

動画　：「320×240」または「160×112」

次のページへつづく

動画の画像サイズを選ぶ

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メニューでの項目の「ムービー設定」を選び決定する。（82ページ）

❸ 選択／押決定ダイヤルで「画像サイズ」を選び決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルで希望の画像サイズを選び決定する。

表示は次のように変わります。

動画の最大記録時間について

画像サイズ	最大記録時間
320×240	15秒
160×112	60秒

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる静止画枚数の目安

画質の設定および被写体の状況で記録枚数が異なります。

タイプ	画質	640×480
4MB（別売り）	ファイン	約39枚
	スタンダード	約58枚
8MB（別売り）	ファイン	約80枚
	スタンダード	約120枚
16MB（別売り）	ファイン	約160枚
	スタンダード	約240枚
32MB（別売り）	ファイン	約325枚
	スタンダード	約485枚
64MB（別売り）	ファイン	約650枚
	スタンダード	約980枚
128MB（別売り）	ファイン	約1310枚
	スタンダード	約1970枚

上の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる枚数です。

ご注意

連続記録時間ではありません。

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる動画の記録時間の目安

画像サイズの設定および被写体の状況で記録時間が異なります。

タイプ	160×112	320×240
4MB（別売り）	約2分40秒	約40秒
8MB（別売り）	約5分20秒	約1分20秒
16MB（別売り）	約10分40秒	約2分40秒
32MB（別売り）	約21分20秒	約5分20秒
64MB（別売り）	約42分40秒	約10分40秒
128MB（別売り）	約85分20秒	約21分20秒

上の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる時間です。

テープの画像を静止画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

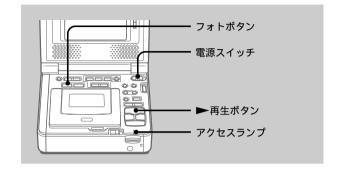
画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すと
テープは一時停止します。

テープに記録された音声は
記録できません。

タイトルは
記録できません。フォトボタンを深く押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取りこんだ時の録画日時が記録されます。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

• 録画済みのテープを入れておいてください。
• あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ ▷再生ボタンを押す。

テープの画像が映る。

❸ 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

テープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

❹ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。テープの画像は再生に戻る。

ご注意

次の場合、表示が点滅することがあります。" メモリースティック "を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。

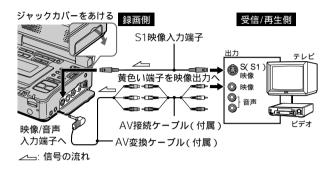
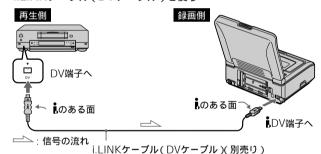
- ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

他機をつないで静止画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

1 **本機の電源スイッチを「入」にする。**

2 **他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。**

他機の画像が液晶画面に映ります。

3 **92ページの手順3〜4を行う。**

テープの画像を動画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

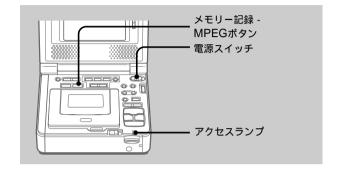
ご注意

- テープの音声が48KHzでも、32KHzに変換されて記録されます。
- ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

タイトルは
記録できません。メモリー記録−MPEGボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

「メモリースティックに録画できません [音声エラー]」と表示されたときは
本機では取りこめない音声で記録されています。他機を再生機としてAV接続ケーブルを使って外部入力してください。(95ページ)

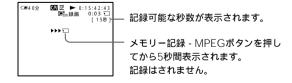
テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取りこんだ時の録画日時が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ ▷再生ボタンを押す。

テープの画像が映る。
画像を取り込みたい部分の開始点で再生一時停止にする。

❸ メモリー記録−MPEGボタンまたはリモコンのスタート/ストップボタンを押す。

メニューの「画像サイズ」を「320×240」に設定したときは最大15秒まで、「160×112」に設定したときは最大60秒まで録画します。

記録を中止する

メモリー記録−MPEGボタンを押す。

ご注意

次の場合、表示が点滅することがあります。“ メモリースティック ”を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。

- ダビングを繰り返した等で記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

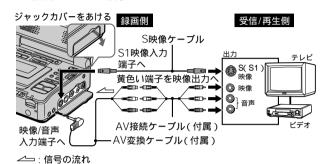
別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

記録中は

本機のカセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

他機をつないで動画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

：信号の流れ

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

：信号の流れ

1 **本機の電源スイッチを「入」にする。**

2 **他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。**

他機の画像が液晶画面に映る。

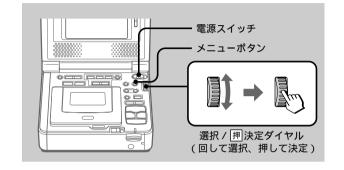
3 **画像を取り込みたい部分の開始点で94ページの手順3を行う。**

テープの画像を編集して取りこむ
－ デジタルプログラムエディット（“メモリースティック”へ）

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、“メモリースティック”に取りこむことができます。

ご注意

- タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。
- デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。
- テープの無記録部分には「ここから」「ここまで」の設定はできません。
- 「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があるとトータルタイムが正しく表示されません。

プログラム作成中に
カセットを取り出すと「実行できません」と表示され、プログラムは消去されます。

プログラムをつくる

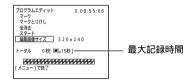
❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ 本機に再生するカセットと録画する“メモリースティック”を入れる。

❸ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び決定する。（85ページ）

❹ 選択／押 決定ダイヤルで「メモリースティックへ」を選び決定する。

❺ 選択／押 決定ダイヤルで「編集画像サイズ」を選び決定する。

「320×240」に設定したときは最大15秒まで、「160×112」に設定したときは最大60秒まで記録できます。

❻ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。

◀II〈または〉II▶ボタンで微調整できます。

❼ メニューの「マーク」を選び決定する。またはリモコンのマークボタンを押す。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❽ ビデオ操作ボタンを使って、録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

最大記録時間を超えて設定したとき
プログラムマークが黄色に変わり、「設定時間をこえてマークされました」と表示されます。ただし、最大記録時間までは記録されます。

❾ メニューの「マーク」を選び決定する。またはリモコンのマークボタンを押す。

プログラムエディット　0:08:58:06
マーク　2 ここから
マークとりけし
全消去
スタート
編集画像サイズ
トータル　3秒［15秒］
［メニュー］で終了

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

❿ 手順6〜9を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。
最大20プログラムまで設定できます。

次のページへつづく

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

❶ 選択／[押]決定ダイヤルで「マークとりけし」を選び決定する。

❷ 選択／[押]決定ダイヤルで「実行」を選び決定する。

最後に設定したプログラムマークが点滅し、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順2で「戻る」を選び決定する。

プログラムの全消去

❶ 選択／[押]決定ダイヤルで「プログラムエディット」を選択したのち、「メモリースティックへ」を選び決定する。

❷ 選択／[押]決定ダイヤルで「全消去」を選択したのち、「実行」を選び決定する。

設定したプログラムマークすべてが点滅し、設定が取り消されます。

全消去を中止する

手順2で「戻る」を選び決定する。

プログラムを中止する

メニューボタンを押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

以下の場合には、「実行できません」と表示され、ダビングできません

- プログラムが未設定
- “ メモリースティック ”が入っていない
- “ メモリースティック ”の誤消去防止つまみがLOCKになっている
- “ メモリースティック ”の残量がない

“ メモリースティック ”の残量がたりないときは

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示されます。ただし、残量表示されている秒数までは、記録することができます。

最大記録時間を超えて設定したとき

「設定時間をこえています」と表示されます。ただし、最大記録時間までは記録されます。

プログラムを実行する（ダビングする）

❶ 選択／押 決定ダイヤルで「プログラムエディット」を選択したのち、「メモリースティックへ」を選び決定する。

❷ 選択／押 決定ダイヤルで「スタート」を選択したのち、「実行」を選び決定する。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。

本機には、サーチ中は「サーチ中」、本機に記憶中は「エディット中」、“ メモリースティック ”にダビング中は「記録中」が表示される。

ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に変わる。

ダビングが終わると自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

ビデオ操作ボタンの■停止ボタンを押す。

押したところまで“ メモリースティック ”に記録されます。

デジタルプログラムエディットを終了する

ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。

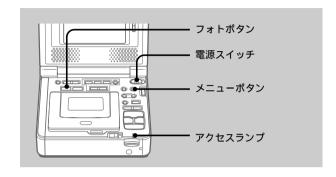
メニューボタンを押し、表示を消す。

テープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、テープに記録されている静止画のみを“メモリースティック”に順次取りこんで、記録できます。

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
「実行できません」と表示されます。

- 録画済みのテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メニューでの項目の「オートフォトコピー」を選び決定する。（82ページ）

「フォトボタンをおしてください」と表示される。

❸ フォトボタンを深く押す。

テープの静止画が“メモリースティック”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」と表示される。

途中で“ メモリースティック ”を入れかえると
前の“ メモリースティック ”に記録した画像データの続きの画像から記録し始めます。

コピーを中止する

メニューボタンを押す。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、コピーは終了します。
“ メモリースティック ”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

静止画を見る – メモリーフォト再生

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。

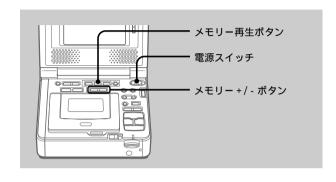
また、インデックス表示をすると、データファイル順に動画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

ご注意

次の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 記録に使った機器以外で画像データを再生する場合

データファイル名について
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと、ディレクトリ番号は表示されず、ファイル名のみ表示される場合があります。
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れているか、本機で扱えないファイル形式です。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは

「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メモリー再生ボタンを押す。

最後に記録した画像が出る。

❸ メモリー＋/－ボタンを押して、静止画を選ぶ。

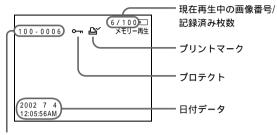
前の画像を見るときは、メモリー－ボタンを押す。

次の画像を見るときは、メモリー＋ボタンを押す。

メモリーフォト再生を止める

メモリー再生ボタンを押す。

撮影日時/カメラデータは
リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

静止画再生中の画面表示

静止画再生表示について

本機以外で" メモリースティック "に記録された静止画は、画質や画像サイズによっては下記のように表示されることもあります。

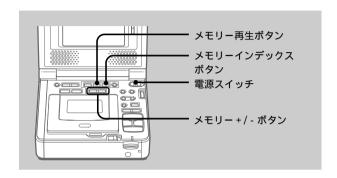
" メモリースティック "を使う

ご注意

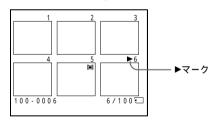
インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名（86ページ）とは違いますのでご注意ください。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
インデックス表示ができない場合があります。

画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ1度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **メモリーインデックスボタンを押す。**

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。

- 次の6枚を見るときは、メモリー ＋ボタンを押す。
- 前の6枚を見るときは、メモリー −ボタンを押す。

1枚の表示（シングル表示）に戻す

メモリー＋/−ボタンで▶マークを表示したい画像に移動し、メモリー再生ボタンを押す。

動画を見る – MPEGムービー再生

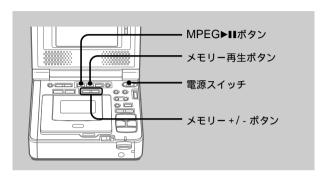
“ メモリースティック ”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示することができます。

ご注意

次の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 記録に使った機器以外で画像データを再生する場合

テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **メモリー再生ボタンを押す。**
最後に記録した画像が出る。

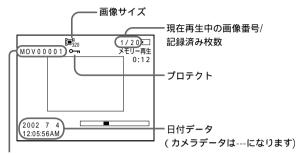
❸ **メモリー+/−ボタンを押して、動画を選ぶ。**
前の画像を見るときは、メモリー−ボタンを押す。
次の画像を見るときは、メモリー+ボタンを押す。

❹ MPEG**▶❚❚ボタンを押して、再生を始める。**

MPEGムービー再生を止める
メモリー再生ボタンを押す。

“ メモリースティック ”を使う

撮影日時は
リモコンのデータコードボタンを押すと、見ることができます。

動画再生中の画面表示

パソコンで“ メモリースティック ”の画像を見る

“ メモリースティック ”に記録した画像をパソコンで見ることができます。

ご注意

“ メモリースティック ”に記録した画像は、以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式の対応アプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
– 静止画：JPEG形式
– 動画/音声：MPEG形式

パソコンで画像を見る
Windowsをお使いの場合（108ページ）
Macintoshをお使いの場合（114ページ）
パソコンをご使用するときのご注意（118ページ）

ご注意

- Windows環境/Macintosh環境とも、1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- WindowsおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文ではTM、Ⓡマークは明記していません。

Windowsをお使いの場合

推奨Windows環境
OS： Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP HomeEdition、Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
CPU：MMX Pentium 200 MHz以上。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、本機に付属のCD-ROMに収録されています。

「パソコンでテープの画像を見る(Windowsをご使用の場合)」の項目でUSBドライバをインストールした方は、109ページの手順6から始めてください。

Windows XPをお使いの場合

USBドライバのインストールは必要ありません。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライバとして認識します。

ご注意

“ メモリースティック ”が入っていないと、インストールできません。
必ず本機に“ メモリースティック ”を入れてください。

USBモード切換スイッチを （メモリースティック）側にしてください。
（お買い上げ時はビデオ側に設定されています。）

Windows 98/98SE/Me, Windows 2000 Professionalをお使いの場合

Windows 2000 Professionalをお使いの場合、Administratorの権限でログインしてください。

操作はUSBケーブルをパソコンに接続せずに始めてください。
USBケーブルは手順８で接続してください。

USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。110ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

❷ 本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

アプリケーションソフトの画面が起動します。

❸ CD-ROMに入っているアプリケーションソフトの画面が起動したら、「USB Driver」をクリックする。

USBドライバのインストール画面が起動します。

❹ 画面の指示に従ってUSBドライバをインストールする。

❺ パソコンを再起動する。

❻ ACパワーアダプターを接続して、USBモード切換スイッチを（メモリースティック）側にする。

お買い上げ時はビデオ側に設定されています。

❼ 本機の電源を「入」にし、"メモリースティック"を入れる。

❽ 本機に付属のUSBケーブルで、本機の(USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

本機の液晶画面に「USBモード」と表示されます。
また、パソコンが本機を認識し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。

"メモリースティック"を使う

次のページへつづく

❾ 画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。

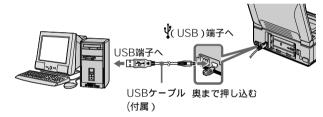
2種類のUSBドライバをインストールするため、「新しいハードウェアの追加ウィザード」は2回起動します。途中で中断せずに最後までインストールしてください。

USB接続ができない場合

USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したためUSBドライバが誤って登録されています。正しくインストールするためには、以下の手順を行ってください。

手順1：誤って登録されたUSBドライバをアンインストールする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 本機に付属のUSBケーブルで、本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

3 本機に“ メモリースティック ”を入れ、電源スイッチを「入」にする。

4 パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。

Windows 2000 Professionalをお使いの場合：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウエア」タブを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする

上記OS以外：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャ」をクリックする

5 「その他のデバイス」を選択する。

（？）マークが付いた機器を選択して削除します

例：（？）Sony Handycam

6 本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。

7 パソコンを再起動する。

手順2：付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

108ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

以下の操作を行うときは、アプリケーションを終了してから行ってください。
－USBケーブルを抜く
－電源を入れるまたは切る
－USBモード切換スイッチを切り換える

付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続して“ メモリースティック ”の画像を見るときは
－ビデオ操作はできません。
－カセットを入れる、または取り出すことはできません。
－カセットぶたを閉めた状態でお使いください。

Windowsで画像を見る

動画再生時は、Windows Media Playerなどの動画再生可能なアプリケーションがインストールされている必要があります。

❶ 本機のUSBモード切換スイッチを （メモリースティック）側にする。

お買い上げ時はビデオ側に設定されています。

❷ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

❸ 本機に付属のUSBケーブルで本機の (USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。

❹ 本機にACアダプターを接続して“ メモリースティック ”を入れる。

❺ 本機の電源スイッチを「入」にする。

本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

❻ Windows上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（E:)」）をダブルクリックする。

“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。

❼ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」（113ページ）をご覧ください。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像/音声がとぎれることがあります。

USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す

Windows 2000 Professional/Me/Windows XPをお使いの方へ

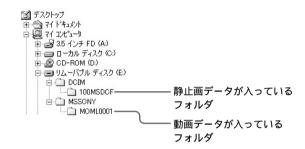
❶ タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより該当するドライブを停止する。

❷ 「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す。

画像ファイルの保存先とファイル名

画像ファイルは、保存形式ごとにフォルダにまとめられています。

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Windows Meで見たときの例
（本機が認識されたドライブは（E:））

フォルダ名	ファイル名	意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

"メモリースティック"を使う

Macintoshをお使いの場合

推奨Macintosh環境
Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X（V10.0/V10.1）が工場出荷時にインストールされているMacintosh。
ただしMac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている"CD-ROMドライブがスロットローディング方式のiMac"、"iBook"、"Power Mac G4"はMac OS 9.0/9.1にアップグレードしてご使用ください。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、本機に付属のCD-ROMに収録されています。

Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（V10.0/V10.1）をお使いの場合

USBドライバのインストールは必要ありません。

本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライブとして認識します。

USBモード切換スイッチを（メモリースティック）側にしてください。

（お買い上げ時はビデオ側に設定されています。）

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0をお使いの場合

❶ **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**

❷ **本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

アプリケーションソフト画面が起動します。

❸ **「セットアップメニュー」アイコンをダブルクリックする。**

画面が表示されます。

❹ **「USB Driver」をクリックする。**

6個の「Driver」関連ファイルを収録したフォルダが開きます。

❺ **6個のファイルを全て選択してシステムフォルダにドラッグ&ドロップし、メッセージが表示されたら「OK」をクリックする。**

❻ **パソコンを再起動する。**

以下の操作を行うときは、アプリケーションを終了してから行ってください。
－USBケーブルを抜く
－電源を入れるまたは切る
－USBモード切換スイッチを切り換える

Macintoshで画像を見る

動画再生時は、QuickTime 3.0以降がインストールされている必要があります。

❶ **本機のUSBモード切換スイッチを（メモリースティック）側にしてください。**

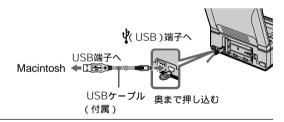
お買い上げ時はビデオ側に設定されています。

❷ **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**

❸ **本機にACアダプターを接続して“メモリースティック”を入れる。**

❹ **本機の電源スイッチを「入」にする。**

❺ **本機に付属のUSBケーブルで本機の（USB）端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

❻ **新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。**

“メモリースティック”内のフォルダが表示されます。

❼ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“メモリースティック”から直接再生すると、画像/音声がとぎれることがあります。

USBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出す

USBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出すには以下の操作が必要です。

Mac OS X（V10.0）をお使いの場合は
パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出してください。

❶ ソフトウェアを閉じる。

アクセスランプが点灯していないことを確認する。

❷ “メモリースティック”アイコンをごみ箱に捨てる、または「特別」メニューから「取り出し」を選択する。

❸ USBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出す。

次のページへつづく

パソコンを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”を本機に使用した場合やUSB接続時に本機内の“ メモリースティック ”をパソコンからフォーマットした場合は保証致しません。
- “ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

本機に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバー［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。

http://www.vaio.sony.co.jp

アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

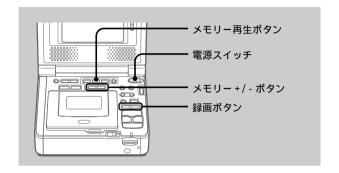
“メモリースティック”に撮った画像をテープにダビングする

あらかじめ“メモリースティック”に記録した画像をテープにダビングできます。

ダビング中は以下の操作はできません

- メモリー再生
- メモリーインデックス
- メモリー消去
- メモリー＋/－

インデックス画面は
録画できません。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
ダビングできないことがあります。

- 記録用のテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **ビデオ操作ボタンを使って、画像をダビングしたい場所を探し、テープを再生一時停止にする。**

❸ **●録画ボタンを2つ同時に押し、録画一時停止にする。**

❹ **メモリー再生ボタンを押す。**

最後に記録した画像が出る。

“メモリースティック”を使う

次のページへつづく

録画中または録画スタンバイ中に画面表示ボタンを押すと
タイムコードなど、テープに関する表示以外に、メモリー再生表示、ファイル名表示も見ることができます。

---

❺ メモリー +/－ボタンを押して、画像を選ぶ。

前の画像を見るときは、メモリー－ボタンを押す。

次の画像を見るときは、メモリー＋ボタンを押す。

---

❻ ❚❚一時停止ボタンを押して、録画を始める。

録画中は●と表示が出ます。

録画を止めたいところでもう1度❚❚一時停止ボタンを押す。

---

❼ 他にもダビングする場合は、手順5～6を繰り返す。

ダビングを中止するときは

■停止ボタンを押す。

“メモリースティック”に撮った静止画を拡大する – メモリー再生ズーム

“メモリースティック”に記録した静止画を拡大して見ることができます。

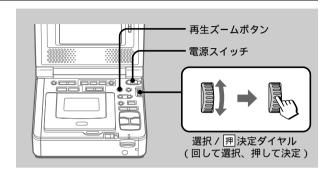
拡大した静止画は見たい部分を選べ、本機のテープや“メモリースティック”にダビングできます。

再生ズーム中は
デジタルエフェクトの設定はできません。

再生ズーム中に以下のボタンを押すと解除されます。
- メニュー
- メモリー再生
- メモリーインデックス
- メモリー＋/－

MPEGムービー記録した画像は
再生ズームはできません。

メモリー再生ズームした画像を“メモリースティック”に保存するには
フォトボタンを押すと、表示中の画像を保存することができます。

メモリー再生ズームした画像をテープに保存するには
録画ボタンを押すと、表示中の画像を保存することができます。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「入」にする。

2 ［メモリー再生中］に
再生ズームボタンを押す。
画像の中心部が2倍に拡大され、↑↓←→が表示される。

3 選択／押決定ダイヤルを回して拡大された画像を上下に動かし、押して決定する。

↑：画像が上に移動する。
↓：画像が下に移動する。

4 選択／押決定ダイヤルを回して拡大された画像を左右に動かし、押して決定する。

←：画像が右に移動する。
（ダイヤルを下へ回す）
→：画像が左に移動する。
（ダイヤルを上へ回す）

❺ **リモコンのズームボタンで倍率を変える。**

ズームは1.1倍から5倍までの間で選べます。

再生ズーム
Q×5.0

W ：倍率を低くする。
T ：倍率を高くする。

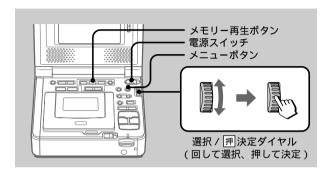
メモリー再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

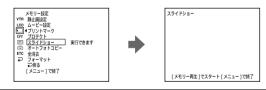
画像を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください。

設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「入」にする。

❷ メニューでの項目の「スライドショー」を選び決定する。（82ページ）

❸ メモリー再生ボタンを押す。
“ メモリースティック ”の画像が順番に再生される。

スライドショーを中止する
メニューボタンを押す。

スライドショーを一時停止する
メモリー再生ボタンを押す。

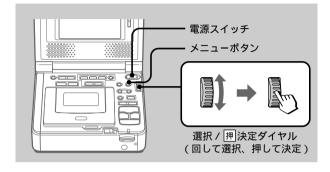
お好みの画像からスライドショーを始める
手順2の前にメモリー＋/－ボタンで最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す－プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

ご注意

画像にプロテクトがかかっていても“メモリースティック”をフォーマットすると“メモリースティック”の内容はすべて失われます。
フォーマットする前に内容を確認してください。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プロテクトは実行できません。

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **プロテクトする画像を再生する。**

❸ **メニューでの項目の「プロテクト」を選び決定する。**（82ページ）

❹ **選択／押決定ダイヤルで「入」を選び決定する。**

❺ **メニューボタンを押してメニュー画面を消す。**

選択された画像にプロテクトがかかり、ファイル名に「O―π」マークがつきます。

プロテクトを解除する

手順4で「切」を選び決定する。

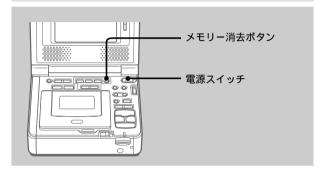
画像を消す – 消去

不要になった画像を消去できます。撮影したすべての画像を消去したり、画像を選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 1度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

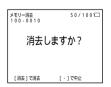
“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
消去は実行できません。

不要になった画像を消去する

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **消去する画像を再生する。**

❸ **メモリー消去ボタンを押す。**

「消去しますか？」の表示が出る。

❹ **もう1度メモリー消去ボタンを押す。**

画像が消去される。

画像の消去を中止する

手順4でメモリー－ボタンを押す。

インデックス表示している画像を消す

メモリー＋/－ボタンで▶マークを消去したい画像に移動してから、手順3と4を行ってください。

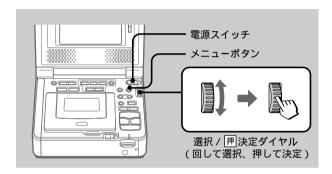
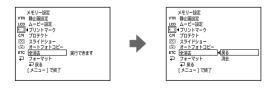
すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

---

❶ 電源スイッチを「入」にする。

---

❷ メニューで の項目の「全消去」を選び決定する。（82ページ）

「消去中」と表示されているときは

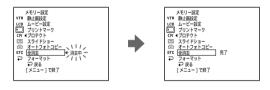
電源スイッチを「切（充電）」にしたり、ボタン操作を行わないでください。

❸ 選択／押決定ダイヤルで「消去」を選び決定する。

「消去」が「消去します」の表示に変わる。

❹ 選択／押決定ダイヤルで「消去します」を選び決定する。

「消去中」の表示が点滅する。

プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。

全消去を中止する

手順4で「戻る」を選び決定する。

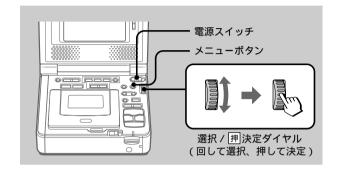
プリントマーク を付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に記録した静止画の中からプリントしたい画像を直接指定してマークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい静止画を選択できるDPOF (Digital Print Order Format) 規格に対応しています。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プリントマークは実行できません。

動画には
プリントマークを付けることができません。

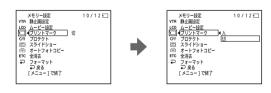
ファイル名が点滅している時は
プリントマークを付けることができません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「入」にする。**

❷ **プリントマークを付ける静止画を再生する。**

❸ **メニューでの項目の「プリントマーク」を選び決定する。**（82ページ）

4 選択／[押]決定ダイヤルで「入」を選び決定する。

メモリー設定　10／12
VTR 静止画設定
LCD ムービー設定
プリントマーク　入
C/// プロテクト
スライドショー
オートフォトコピー
ETC 全消去
フォーマット
戻る
［メニュー］で終了

5 メニューボタンを押してメニュー画面を消す。

プリントマークを付けた画像のファイル名に「 」マークがつきます。

プリントマークを解除する

手順4で「切」を選び決定する。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。136ページをご覧ください。

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
再生できない	•電源スイッチが「入」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「入」にする。 •テープを巻き戻す。	7、11 13
画像に横線が入る。またぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	147
音声が小さいまたは聞こえない	•音量を最小にしている。 •メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。 •メニューの「音声ミックス」が「ステレオ2」側になっている。	•音量を大きくする。 •「バイリンガル」を「切」にする。 •音声ミックスを調節する。	12 81 68、81
録画撮影日を画面に出して日付サーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 ー	39 83 39
タイトルサーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •タイトルが入っていない。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 •タイトルを入れる。 ー	38 83 28 28
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	68、81
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	83

再生中・録画中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「入」にしても動作しない	•ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。 •バッテリーが消耗している／消耗が近い／取り付けられていない。	•コンセントに差し込む。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	6 139、140
録画できない	•電源スイッチが「入」になっていない。 •テープが終わりになっている。 •カセットが誤消去防止状態になっている。 •テープがヘッドドラムに貼りついている（結露）。	•「入」にする。 •巻き戻すか、新しいテープを入れる。 •そのテープで録画するなら誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。 •カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	7 10、13 10 147
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	ー •満充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	ー 140 139
バッテリー残量が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 •バッテリーそのものの寿命。 •バッテリーが消耗している。 •残量表示にズレが生じた。	ー •新しいバッテリーに交換する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。 •満充電すると残量が正しく表示される。	 139 139、140 140
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	残量表示にズレが生じた。	満充電すると残量が正しく表示される	140
カセットが取り出せない。	•電源（ACパワーアダプターやバッテリー）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	6、139 139、140
[結露マーク]や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	147
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	143

次のページへつづく

再生中・録画中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	84

“ メモリースティック ”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
操作を受け付けない。	“ メモリースティック ”が入っていない。	“ メモリースティック ”を入れる。	87
記録ができない。	•すでにメモリー容量いっぱいの“ メモリースティック ”に記録しようとしている。	•不要な画像を消去してから記録する。	125
	•フォーマット形式の異なる“ メモリースティック ”を入れた。	•フォーマットするか、別の“ メモリースティック ”を入れる。	83
	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•「LOCK」を解除する。	86
画像を消去できない。	•プロテクトされている。	•プロテクトを解除する。	124
	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•「LOCK」を解除する。	86
フォーマットが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	86
全消去が実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	86
プロテクトが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•「LOCK」を解除する。	86
	•プロテクト操作をしたい画像が表示されていない。	•メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。	102
プリントマークが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•「LOCK」を解除する。	86
	•プリントマーク操作をしたい画像が表示されていない。	•メモリー再生ボタンを押して画像を表示する。	102
	•動画にプリントマークを付けようとしている。	•動画にはプリントマークを付けることができません。	ー

“ メモリースティック ”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
オートフォトコピーが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	86
正しい画像サイズで再生できない	他機で録画した画像を再生しようとすると正しく表示されないことがありますが、故障ではありません。	ー	ー

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	28
	•カセットのメモリー容量がいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	30
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	10
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	28
カセットに名前を付けられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	35
	•カセットのメモリー容量がいっぱいになっている。	•不要なデータを消去する。	30、36
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	10
他機のテープへのデジタルプログラムエディットが働かない。	•録画機側の入力切換ができていない。	•接続を確認して録画機側の入力切換スイッチを設定し直す。	49
	•ソニー以外のDV機器とi.LINKケーブル(DVケーブル)を使用して接続している。	•操作を「リモコン」にする。	54、56
	•無記録部分にプログラム設定しようとしている。	•録画された部分に設定し直す。	58
	•本機と録画機の録画のタイミングが合わない。	•タイミング補正をする。	56
	•リモコンコードが違う。	•正しいリモコンコードを設定する。	51
“メモリースティック”へのデジタルプログラムエディットが働かない。	無記録部分にプログラムを設定しようとしている。	録画された部分に設定し直す。	96、99

次のページへつづく

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ワイヤレスリモコンが働かない。	•リモコンコードが合っていない。またはメニューの「リモコン」の設定を「切」にしている。	•リモコンに合わせてメニューの「リモコン」の設定を変える。	15、85
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	154
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	154
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	147
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	ー
ダビング編集中、i.LINKケーブル（DVケーブル）を正しく接続しているのにモニター画像が出ない	—	i.LINKケーブル（DVケーブル）を一度ぬいてからもう一度接続し直す。	48
電源が入っているのに操作できない	—	ACパワーアダプターまたはバッテリーを取りはずし、約1分後再びACパワーアダプターまたはバッテリーを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは本体底面のリセットボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。）	6、151

その他

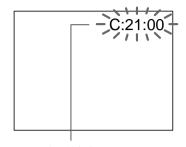
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
本体に取り付けたバッテリーを充電中、充電ランプが点灯しない。	•充電が完了している。 •バッテリーが正しく取り付けられていない。	ー •正しく取り付ける。	ー 139
本体に取り付けたバッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「切（充電）」になっていない。	電源スイッチを「切（充電）」にする。	140
本機に取り付けたバッテリーを充電中に充電ランプが点滅する。	•バッテリーが正しく取り付けられていない。 •バッテリーが故障している。	•正しく取り付ける。 •テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。	139 ー
USB**接続が認識できない。**	•USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続した。 •USBモード切換スイッチの設定が正しくない。	•正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。 •USBモード切換スイッチを正しく設定する。	72、73、110 71、109
カセットぶたを開けてもテープが出てこない。	本機が結露しかけている。	ー	147

自己診断表示－アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせしていただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	141、144
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	147
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	147
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。 • 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	－ －
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	－

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示とお知らせメッセージ

画面に次のような表示が出ます。詳しい説明は、( ) 内のページにあります。

♪：おしらせブザー音が鳴ります。

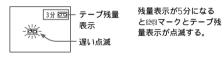
：電源／充電ランプが緑色に点滅します。

バッテリー残量

バッテリー残量表示について*

残量表示がになると液晶画面にマークが点滅する。
* 残量時間は使用状況や環境により正しく表示されない場合があります。

テープ残量（録画中）

残量表示が5分になるとマークとテープ残量表示が点滅する。

♪テープの終わり

録画ボタンを押したときのみ出ます。

日付・時刻の未設定（7ページ）

日付、時刻を設定してもこのメッセージが出る場合は、内蔵の充電式ボタン電池が放電しています。充電してください。（148ページ）

♪カセットが入っていない

録画ボタンを押したときのみ出ます。

♪カセット誤消去防止

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

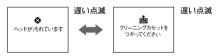
カセットの
誤消去防止ツマミを
確認してください

♪ダビングできない（142ページ）

著作権保護のための信号が記録されている画像を本機で録画しようとしたとき出ます。

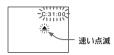
ダビングプロテクト
されています
録画できません

ヘッド汚れ（147ページ）

クリーニングカセットできれいにする。

♪結露（147ページ）

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にご相談ください。

“ メモリースティック ”が入っていない

メモリースティックを
入れてください

お知らせメッセージ

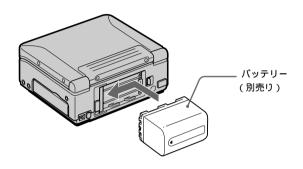
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（139ページ）
- “ インフォリチウム ”バッテリーをつかってください（141ページ）
- ♪• 音声モードがちがいます　確認してください（84ページ）
- ♪• 録画モードがちがいます　確認してください（84ページ）
- ♪• テープを確認してください（67ページ）
- ♪•“ i. LINK ”ケーブルをぬいてください（67ページ）
- ♪• カセットメモリー付きカセットに入れかえてください
- ♪• カセットメモリーがいっぱいです（30ページ）
- ♪• メモリースティックを確認してください（92ページ）
- ♪• メモリースティックのメモリーがいっぱいです（101ページ）
- ♪• メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください（86ページ）
- ♪• ファイルがありません（102ページ）
- ♪• メモリースティックエラー（87ページ）
- ♪• メモリースティックフォーマットエラー（83ページ）
- ♪• メモリースティックディレクトリエラー（102ページ）
- ♪• 全消去中です
- ♪• フォーマット中です

♪ 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

別売りのバッテリーを使う

本機の電源には、“ インフォリチウム ”バッテリー（Mシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

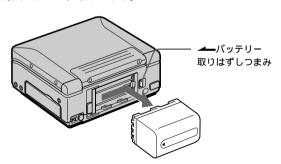
バッテリーを取り付ける

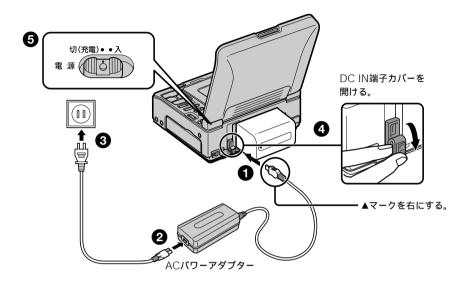
バッテリーを押しながら矢印の方向へずらす。

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

バッテリー残量時間表示について
“ インフォリチウム ”バッテリーをお使いのときは、あと何分連続で使えるかを液晶画面に表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。液晶画面を閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

本体からはずす

◀━バッテリー取りはずしつまみを押しながらバッテリーを矢印の方法へずらし、取りはずす。

その他

バッテリーを充電する

本機でバッテリーの充電ができます。バッテリーは充電してからお使いください。

ご注意

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

1 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを右にしてつなぐ。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

4 バッテリーを取り付ける。

5 電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、電源／充電ランプがオレンジ色に点灯し、終わると消える（満充電）。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

海外でも充電できます
詳しくは146ページをご覧ください。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは
満充電すると正しく表示されます。

バッテリーは
室温10℃〜30℃で充電することをおすすめします。

InfoLITHIUM **(インフォリチウム) バッテリーとは**
" インフォリチウム "バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は" インフォリチウム "バッテリー(Mシリーズ) 対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。" インフォリチウム "バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM (インフォリチウム) はソニー株式会社の商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-FM50	150
NP-FM70/QM70	240
NP-QM71	260
NP-FM90	330
NP-FM91/QM91	360

まわりの温度によりバッテリーの温度が極端に高いまたは低いと、充電時間が長くなることがあります。

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間 (約　分)。

NP-QM70/QM71/QM91はスーパークイック (SQ) チャージ対応バッテリーです。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50	90	140
NP-FM70/QM70	195	295
NP-QM71	225	340
NP-FM90	270	450
NP-FM91/QM91	345	520

満充電してからの時間 (約　分)。
25℃で連続再生したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、Ⅱ方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

  カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時、タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。
  カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの始めや途中に1度無記録部分を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。
  無記録部分があったり、テープ上の信号が不連続なものは、左記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。
  カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。
このような映像音声を記録しようとすると液晶画面に「ダビングプロテクトされています　録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

カセットのCM 4K マークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM 16K マークが本体側面についています）まで対応しています。

これらは商標です。

CM Cassette Memory

カセットメモリーのマークです。

Mini DV Digital Video Cassette

ミニDVカセットのマークです。

音声多重記録テープを再生するとき

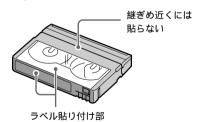
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（81ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

カセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

カセットの使用後は

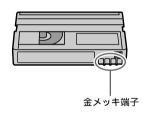
ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります。）巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れ直してください。金メッキ端子にゴミなどが付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されなかったり、カセットメモリーを使う機能が正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機でバッテリーをご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の環境で、充電ランプが消える（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  ーバッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  ー高容量バッテリー「NP-FM70/FM90/FM91/QM70/QM71/QM91（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FM70/FM90/FM91/QM70/QM71/QM91（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で録画または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。録画一時停止状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 録画には予定録画時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試しに録画をしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。録画時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するiマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで電源「入」の状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力／出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Megabits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については20、48ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

海外で使う

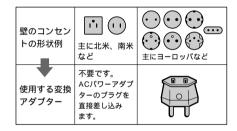
本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10 は、**全世界の電源**（AC100V〜240V・50/60Hz）**でお使いいただけます。**

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像／音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで ETC「時差補正」を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは85ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。

結露しています
カセットを
取り出してください

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出しつまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットぶたを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットぶたを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉めないでください。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

や

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。

このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

次のページへつづく

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し4ヶ月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を付属のACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz (ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz (ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画／再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	約2分（DVM60使用時）

入・出力端子

S1映像入力端子	4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω不平衡
S1映像出力端子	4ピンミニDIN（1） 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω不平衡
映像音声入力端子	AVミニジャック（1） 映像：1Vp-p、75Ω不平衡 音声：327mV、インピーダンス47kΩ以上
映像出力端子	ピンジャック（1） 1Vp-p、75Ω不平衡
音声出力端子	ピンジャック（L、R）（2） 327mV、（47kΩ負荷時） インピーダンス　1kΩ以下
DV端子	i.LINK（IEEE1394.4ピン特殊コネクターS100）
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）（1）
LANC端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）（1）
USB端子	mini-B

液晶画面

画面サイズ	10cm（4型）
有効画面領域	80.6×60.5mm （幅×高さ）
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	8.4V（DC IN端子） 7.2V（バッテリー端子入力）
消費電力	録画時　5.0W（画面使用時） 再生時　5.2W（画面使用時） 3.5W（液晶画面を閉じて使用時）
動作温度	0℃～＋40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
最大外形寸法	148×65×133mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約880g（テープ含まず）
スピーカー	ダイナミックスピーカー（2）
付属品	ACパワーアダプター （AC-L10）（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） USBケーブル（1） AV接続ケーブル（1） AV変換ケーブル（1） 電源コード（1） 取扱説明書（1） 取扱説明書（安全のために）（1） 保証書（1） CD-ROM（1）

ACパワーアダプターAC-L10

電源	AC100～240V、50/60HHz
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0℃～＋40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
外形寸法 （最大突起部をのぞく）	約125×39×62mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約280g（本体のみ）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

このデジタルビデオカセットレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

" 故障かな？と思ったら "の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

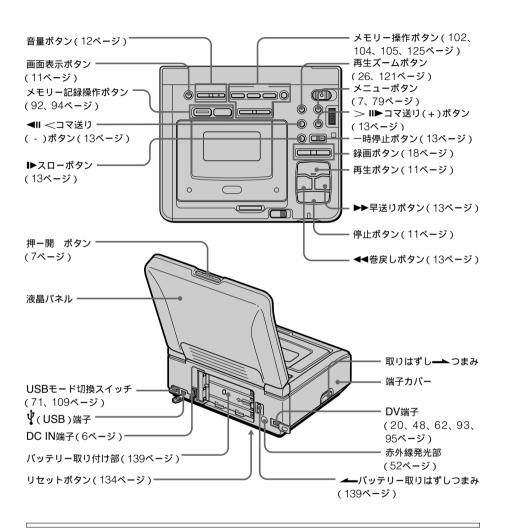
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

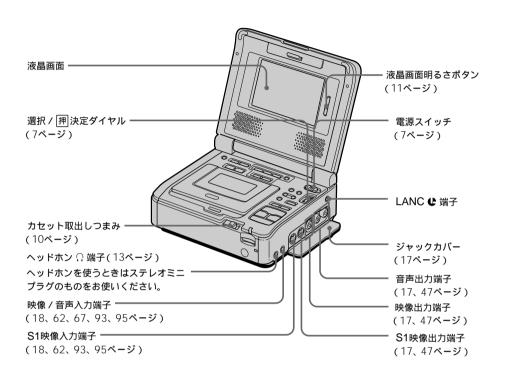
保証期間経過後の修理は

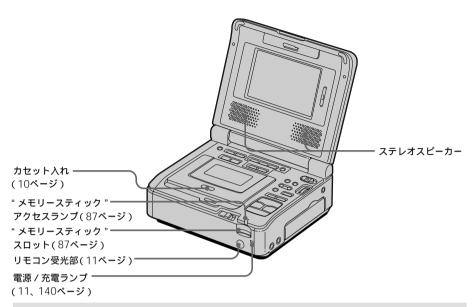
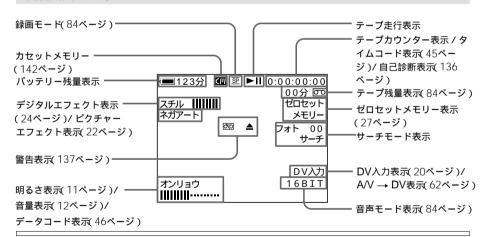
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカセットレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

各部のなまえ 使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

端子カバーの取りはずしかた

- 端子カバーを取りはずすときは、液晶パネルを開いてから取りはずしてください。
- 別売りの専用アクセサリーを本機に取り付けるときは、取りはずし━▶つまみを上にずらしながら、端子カバーをはずします。使い終わったら、端子カバーを取り付けてください。

LANCマークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

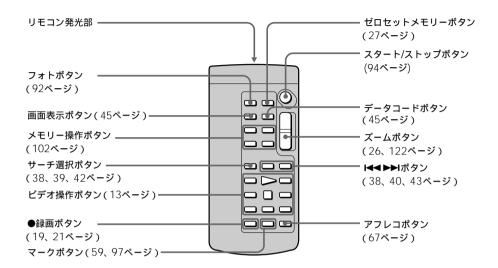
ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

液晶画面の表示

タイムコードについて

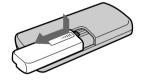
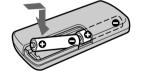
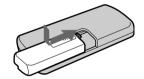
タイムコードは、テープの位置の指定を容易にするために、テープ上に記録される位置情報信号です。本機では、録画時にタイムコードが自動的に記録されます。タイムコードを確認するには、画面表示ボタンを押すと、液晶画面やテレビ画面に、時：分：秒：フレームで表示されます。タイムコードは、テープの先頭を0:00:00:00として、順に記録されます。ただし、テープの途中で空き（無記録部分）を作ると、その直後から0:00:00:00として記録されます。このタイムコードは後から書き直すことはできません。

また、本機のタイムコードはドロップフレーム方式です。誤差修正のために数フレームとばして表示することがあります。

検索する

次のページへつづく

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

索引

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いに
ご注意ください。

■ テクニカルインフォメーションセンター

ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

電話： **0564-62-4979**

受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan